FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix S6000fd

使用説明書/ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ
ファインピックスS6000fdおよび付属のソフトウェアの使い方が
まとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/

BL00548-100(1)

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

重 要　ご使用になられる前に必ずお読みください。

ご注意：CD-ROMのパッケージ開封前に必ずお読みください。

富士写真フイルム株式会社がお客様に提供するCD-ROMのパッケージ開封前に必ず本ソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。お客様は、本ソフトウェア使用許諾契約書に同意された場合にのみ、CD-ROMに記録されたソフトウェアを使用できます。
お客様がCD-ROMのパッケージを開封された場合、お客様は本ソフトウェア使用許諾契約書に同意されたものとみなします。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様と富士写真フイルム株式会社（以下富士フイルムといいます）は、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROMに記録されたソフトウェアの使用につき、以下のとおり契約します。
富士フイルム以外の事業者のソフトウェアで、本契約とは別の使用許諾契約が付されたソフトウェアの使用については、当該使用許諾契約の規定が本契約に優先するものとします。

1. 定義
（1）本CD-ROMとは、富士フイルムがお客様に提供するCD-ROM「Software for FinePix」を指します。
（2）本ソフトとは、富士フイルムがお客様に提供する、本CD-ROMに記録されたソフトウェアを指します。
（3）関連資料等とは、富士フイルムがお客様に提供する本ソフトの使用説明書その他本ソフトに関する資料を総称して指します。
（4）本製品とは、富士フイルムが提供する本CD-ROMと関連資料等を総称して指します。

2. 使用権の許諾
富士フイルムはお客様に対し、本ソフトに関する以下の非独占的、譲渡不能の権利を許諾します。
①機械読み取り可能な形式で、１台のコンピュータに本ソフトをインストールし、使用する権利
②バックアップ目的にて本ソフトを１部に限り複製する権利

3. 禁止事項
（1）お客様は富士フイルムの事前の書面による承諾なく、本ソフト、本CD-ROMおよび関連資料等の第三者への譲渡、貸与または占有の移転その他の処分をし、また富士フイルムより許諾された権利を第三者に再許諾等してはいけません。
（2）お客様は、本契約にて明示的に認められた場合を除き、本ソフトおよび関連資料等を複製してはいけません。
（3）お客様は、本ソフトおよび関連資料等を改変・変更・翻案し、また本ソフトおよび関連資料等に付された著作権表示その他財産権の表示を削除してはいけません。
（4）お客様は、本ソフトのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをしてはいけません。また第三者をしてこれらの行為をさせてはいけません。

4. 著作権その他の知的財産権
本ソフトおよび関連資料等に関する著作権その他の知的財産権は、富士フイルムまたは本ソフトおよび関連資料等に記載された権利者に帰属します。本契約によりお客様に許諾された場合を除き、明示または黙示を問わずいかなる権利もお客様に譲渡されまたは許諾されません。

5. 保証および免責

（1）お客様が本製品をお買上げ後90日以内に本CD-ROMに読み取り不能等の物理的欠陥が見つかった場合、富士フイルムは無償にて良品と交換します。

（2）本製品による第三者の著作権その他知的財産権の侵害の有無に関し、富士フイルムは何ら保証を行わないものとし、本製品の使用による第三者の著作権その他知的財産権の侵害およびそれによって生じるすべての損害につき、富士フイルムは一切責任を負いません。

（3）本製品は提供時の状態のままお客様に提供されるものです。富士フイルムは、第(1)項に定めるほか、商品性の保証、特定目的への適合性その他本製品につき、一切保証しません。

6. 責任の制限

富士フイルムは、「5．保証および免責」に明記されている場合を除き、いかなる場合においても、本製品の使用や使用不能から生じる損害（逸失利益、付随的、特別あるいは結果的な損害を含みますがこれに限りません）について一切責任を負いません。

7. 輸出関連法の遵守

お客様は、本ソフトを日本国の「外国為替及び外国貿易法」その他の輸出規制関連法に違反して日本国外に持ち出す等の行為を行ってはなりません。

8. 解除

お客様が本契約に違反した場合は、富士フイルムは何らの通知・催告をすることなく直ちに本契約を解除することができます。

9. 契約期間

本契約は、お客様が本ソフトの使用を開始した日に発効し、「8．解除」に基づき本契約が解除され、またはお客様が本ソフトの使用を終了するときまで有効とします。

10.契約終了後の義務

本契約が終了した場合、お客様はお客様の責任にて本ソフト（複製物を含む）、本CD-ROMおよび関連資料等をすべて消去・廃棄するものとします。

本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。
耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

本書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいます）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。
表示される画面やメニューが本書と異なる場合がありますがご了承ください。

まずお確かめください（付属品）

下記の付属品がすべてそろっているかお確かめください。

● 単3形アルカリ乾電池 LR6 (4本)

● ストラップ（1本）

● レンズキャップ（1個）
● レンズキャップホルダー（1個）

● レンズフード（1個）

● 専用A/V（音声／映像）ケーブル（1本）

● USBケーブル（mini-B）（1本）

● CD-ROM（1枚）
Software for FinePix CX

● 使用説明書（本書1部）

● 安全上のご注意（1部）

● 保証書（1部）

FinePix 簡単操作ガイド

このガイドで基本的な使いかたを覚えて、さっそく写真を撮ってみましょう。

1. まずは準備から・・・

ふんふん、向きに注意するわけね

電池を入れる（➡P.23）

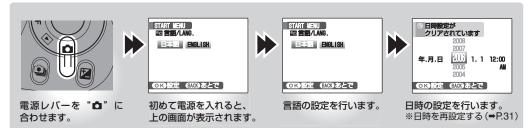
電源を入れる／言語の設定をする／日時を設定する（➡P.28、P.29）

電源レバーを“📷”に合わせます。

初めて電源を入れると、上の画面が表示されます。

言語の設定を行います。

日時の設定を行います。
※日時を再設定する（➡P.31）

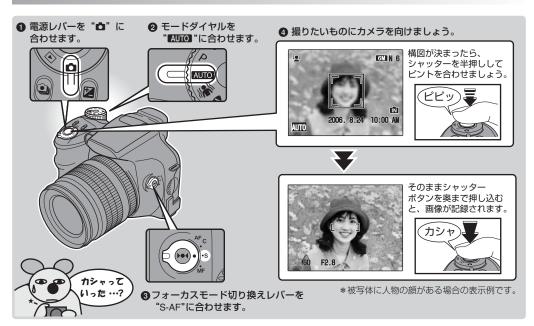
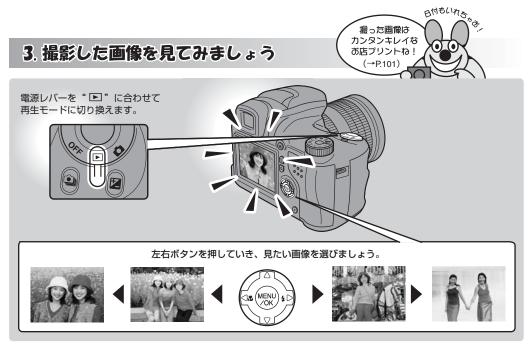
次ページにつづく

2. 撮影してみましょう

本機は **xD-ピクチャーカード** がなくても撮影できますが、多くの枚数を撮影するときは、別売の **xD-ピクチャーカード** を購入してください。

＊被写体に人物の顔がある場合の表示例です。

3. 撮影した画像を見てみましょう

電源レバーを“ ▶ ”に合わせて
再生モードに切り換えます。

左右ボタンを押していき、見たい画像を選びましょう。

※詳しいこと、わからないことは本編で確認しましょう。

顔キレイナビ（顔検出機能）を使って撮影してみよう

顔キレイナビを使って撮影すると、人物の顔を検出し、ピントや明るさを最適化して撮影することができます（→36ページ）。人物が左右に並び、背景にピントが合いやすかったシーンでも、顔キレイナビで素早く人物の顔を検出してピントを合わせます。さらに、顔に合わせて明るさも最適化するため、人物を明るく撮影できます。

❶ **顔キレイナビがONのとき（画面に が表示されます）、人物の顔に枠が表示されます。**

また、一人旅などでセルフタイマー（→86ページ）を使った自分撮りにも適しています。

❷ **シャッターボタンを全押しして撮影しましょう。**

全押し

顔キレイナビで撮影した画像は、再生時、顔キレイナビボタンを押すと、顔を拡大して表示します（→44ページ）。
さらに、以下の再生機能では、顔キレイナビを活かした設定ができます。
- 再生ズーム（→45ページ）
- オートプレイ（→97ページ）
- プリント予約（→100ページ）
- 画像回転（→102ページ）
- トリミング（→112ページ）

簡単にボタン類と機能について説明します。

次ページにつづく

視度調節ダイヤル
ファインダー内の像を見やすくします。AFフレームが最もシャープに見える位置に合わせてください。
顔キレイナビボタン
人物を撮影するとき、顔にピントを合わせて撮影することができます。
EVF/LCD（ファインダー/モニター切り換え）ボタン
“EVF/LCD” ボタンを押すたびにファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）が切り換わります。撮影状況に応じて使用します。
デジタルズームボタン
デジタルズーム（2倍）を使用することができます。
◀▶ボタン
撮影時：◀ボタン：マクロ（）のON/OFF
▶ボタン：フラッシュ（）の設定
再生時：コマの移動、動画のコマ送り
MENU/OK
フォトモード（F）ボタン
撮影時：感度、ピクセル（記録画素数）、FinePixカラーを設定できます。
再生時：オートプレイ、プリント予約（DPOF）を設定できます。
DISP（表示）/BACK（戻る）ボタン
DISP ：画面の表示を切り換えます。
BACK：操作を途中でやめるときなどに使用します。
EVF LCD
DISP/BACK

フォーカスリング
マニュアルフォーカス撮影で、ピント合わせをします。
ズームリング
ズームして撮影することができます。
ワンプッシュAFボタン
いったんAFでピント合わせをします。MFでのみ使用できます。
AF
C
S
MF
フォーカスモード切り換えレバー
C-AF（コンティニュアスAF）、S-AF（シングルAF）、MF（マニュアルフォーカス）を切り換えます。

目次

もっと使いこなそう（再生編）

もっと使いこなそう（動画編）

カメラの設定を変える

プリンターなどに接続する

ソフトウェアを使う

次ページにつづく

お使いになる前に

ご使用になる前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録された**xD-ピクチャーカード** の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ 商標について

- xD-Picture Card、**xD-Picture Card™**、**xD-ピクチャーカード™** は富士写真フイルム（株）の商標です。
- Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

※ その他の注意については160ページをご参照ください。

本書について

近距離撮影をする（マクロ）

使用可能撮影モード：AUTO、P、S、A、M

"（◀）"ボタンを押して、マクロに設定します。
"（◀）"ボタンを押すたびにマクロの設定が変わります。

チェック！
・マクロ撮影でピントが合う範囲
広角側：約10cm〜約3.0m望遠側：約90cm〜約3.0m
・スーパーマクロ撮影でピントが合う範囲
約1cm〜約1.0m(広角側のみ)
・マクロ撮影でのフラッシュ撮影可能距離
広角側：約30cm〜約2.0m
望遠側：約90cm〜約2.0m

メモ
・マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
・マクロ撮影は次のとき自動的に解除されます。
－ モードダイヤルを 、、SP（ 以外）、" に切り換えたとき
－ 電源が切れたとき
・フラッシュが明るすぎる場合は、フラッシュの光量補正を行ってください(→93ページ)。
・AFモードを オートエリア(→91ページ)に設定し

この操作が行えるモードを示しています。

注意

カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

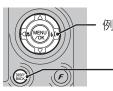
チェック！

実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ

カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

■ ボタンのイラストについて

本書ではボタンを図のように説明しています。

例：▶ ボタンを押すとき

DISP/BACKボタンを押すとき

各部の名前

＊（　　）内のページに詳しい説明があります。

AF補助光ランプ（P. 40）／
セルフタイマーランプ（P. 87）
マイク
レンズフード
A/V OUT（音声／映像出力）
端子（P. 128）
DC IN 5V
DC IN 5V（電源入力）
端子（P. 129）
USB端子（mini-B）
フラッシュ（P. 73）
フォーカスモード切り換え
レバー（P. 11、69、70）
（ワンプッシュAF）
ボタン（P. 11、70）
ストラップ取り付け部
（P. 21）
スピーカー
スロットカバー（P. 26）
PUSH TO EJECT
xD-ピクチャーカード用
スロット（P.26）
端子カバー

液晶ファインダー（EVF）
視度調節ダイヤル
インジケーターランプ
（P. 35）
液晶モニター（LCD）
DISP（表示）／BACK（戻る）
ボタン（P. 10、41、43）
三脚用ねじ穴
顔キレイナビボタン（P. 8、36）
EVF/LCD（ファインダー／モニター
切り換え）ボタン（P. 10、32）
デジタルズームボタン
（P. 10、40）
十字（▲▼◀▶）ボタン
MENU（メニュー）／OKボタン
フォトモード（ F ）ボタン
（P. 10、79、96）
電池カバー（P. 23）

画面の表示例

■ 静止画撮影時

■ 再生時

本機は **xD-ピクチャーカード** がなくても、カメラの内蔵メモリーにより、撮影できます。内蔵メモリーを使用しているときは、画面に“IN”が表示されます。

ストラップ、レンズキャップ、レンズフードを取り付ける

ストラップを取り付ける

❶ ストラップをストラップ取り付け部に取り付けます。両端を取り付けたら、ストラップが外れないことを十分にご確認ください。

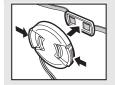
❷ レンズキャップのヒモをストラップに通して取り付けます。

注意

- ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかり取り付けてください。
- レンズキャップをなくさないように、ヒモの取り付けをおすすめします。

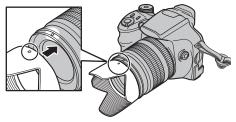
レンズキャップを取り付ける

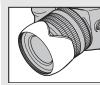
レンズキャップは両側を押しながら取り付け、取り外しをします。

 メモ

撮影時はレンズキャップの写り込みを防ぐため、レンズキャップをレンズキャップホルダーに取り付けます。

レンズフードを取り付ける

レンズフードを取り付けると、逆光時にゴーストやフレアを軽減し、きれいに撮影できます。

❶ カメラとレンズフードの指標を合わせて押し込みます。

❷ カチっと音がするまで時計回りに回して取り付けます。

 メモ

レンズフードはソフトケースへ収納するときなどのために逆向きに取り付けることができます。

電池を入れる

デジタルカメラには、動かすための電池が必要です。まずは電池をカメラに入れましょう。

■ 使用する電池

単３形アルカリ乾電池(4本)、または単３形ニッケル水素電池(4本：別売)

注意

外装チューブ

- 電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因になるため、以下の電池は絶対に使用しないでください。
  1. 外装チューブが破れたりはがれたりしている電池
  2. 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜての使用
- マンガン乾電池やニカド電池は使用しないでください。
- 単3形アルカリ乾電池は付属のものと同銘柄のご使用をおすすめします。

❶ 電池カバーを開けます。

チェック！

電池カバーを開けるときは、必ず電源が切れていることを確認してください。

注意

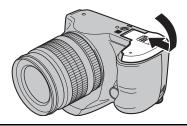
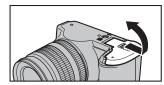
- 電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。**xD-ピクチャーカード** または画像ファイルなどが壊れることがあります。
- 電池カバーに無理な力を加えないでください。

次ページにつづく

❷ 電池を表示に従って正しく入れます。

注意

カメラ本体の表示に合わせてください。

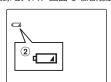
❸ 電池カバーで電池を押し込みながら、スライドさせて電池カバーを閉めます。

電池を取り出すには

必ず電源を切ってから電池カバーを開け電池を取り出してください。

注意

電池を取り出すときは電池を落とさないようご注意ください。

電池残量について

電源を入れ、画面で電池残量を確認します。

① 電池の残量は十分にあります（表示なし）。

② 電池の残量が不足しています。新しい電池を準備してください（赤点灯）。

③ 電池残量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください（赤点滅）。

注意　電池について

- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、使用可能時間が極端に短くなることがあります。
- 単3形アルカリ乾電池（以下アルカリ乾電池）は銘柄により使用可能時間に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、使用可能時間が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、低温環境（0℃～＋10℃）では使用時間が短くなるため、単3形ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 温度が低いところで使用したとき、電池の特性上電池残量不足の表示（ 、 ）が早く出る場合があります。電池をポケットなどで温めて使用することをおすすめします。
- 電池の消耗の度合いや電池の種類によっては、電池残量表示が出ないでカメラの電源が切れることがあります。一度、電池切れになった電池を再使用した場合にはこの現象が起こりやすくなります。
- モードによっては“ ”から“ ”になるまでの時間が短くなることがあります。
- 単3形ニッケル水素電池は、別売の充電器で充電してください。
- 「電池についてのご注意」→161～162ページ
- お買上げ時や長い間使用しなかった単3形ニッケル水素電池は、使用可能時間が短くなることがあります。詳細については162ページをご参照ください。
- カメラの動作状態により消費電力は大きく変化します。
  このため、電池を使用中に撮影モードから再生モードへ切り換えた場合に、“ ”が点灯せず、“ ”が点滅し、動作が終了する場合があります。

xD-ピクチャーカード を入れる

本機では内蔵メモリーで撮影できますが、**xD-ピクチャーカード**（別売）を使うとよりたくさんの写真を撮影できます。**xD-ピクチャーカード**（別売）をカメラに入れましょう。

■ 使用可能な xD-ピクチャーカード™

- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-M256（256MB）
- DPC-512（512MB）
- DPC-M512（512MB）
- DPC-M1GB（1GB）
- DPC-M2GB（2GB）

メモ

xD-ピクチャーカード には従来品と、「DPC-M1GB」など、「M」が付いているType Mがあります。
本機はType Mに対応していますが、使用する機器（カードリーダーなど）によって非対応の場合があります。また、Type-Hに関しては167ページをご参照ください。

❶スロットカバーを開けます。

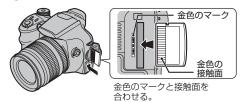
チェック！

スロットカバーを開けるときは、必ず電源が切れていることを確認してください。

注意

スロットカバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。**xD-ピクチャーカード** または画像ファイルなどが壊れることがあります。

❷xD-ピクチャーカード を入れます。

金色のマークと接触面を合わせる。

❸スロットカバーを閉めます。

xD-ピクチャーカード を取り出すには

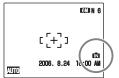
カードを押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

注意

- **xD-ピクチャーカード** は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- **xD-ピクチャーカード** の向きが間違っていると奥まで入りません。無理な力を加えないでください。
- ロックが外れた直後に **xD-ピクチャーカード** から急に指をはなすと、**xD-ピクチャーカード** が飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- 本機での動作保証は弊社製 **xD-ピクチャーカード** のみとなります。
- 「**xD-ピクチャーカード** ™、内蔵メモリーについてのご注意」→166ページ

メモ

- 被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、実際に記録可能な枚数が多くなることや少なくなることがあります。
- 標準撮影枚数については、182ページをご参照ください。

■ 内蔵メモリーについて

本機は **xD-ピクチャーカード** がなくても、カメラの内蔵メモリーにより、撮影できます。内蔵メモリーを使用しているときは、画面に“IN”が表示されます。

xD-ピクチャーカード (別売)が挿入されているとき
[撮影した画像]： **xD-ピクチャーカード** に記録されます。
[再生画像]： **xD-ピクチャーカード** 内の画像を再生します。

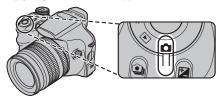
xD-ピクチャーカード (別売)が挿入されていないとき
[撮影した画像]： 内蔵メモリーに記録されます。
[再生画像]： 内蔵メモリーの画像を再生します。

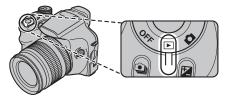
■ 内蔵メモリー内の画像について

内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア(ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-Rなど)にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
また、内蔵メモリーへ保存した画像は、**xD-ピクチャーカード** へコピーできます(→105ページ)。

電源を入れる／切る

撮影モードで電源を入れる

電源レバーを“📷”に合わせると、撮影モードで電源が入ります。
電源を切るには“OFF”に合わせます。

再生モードで電源を入れる

電源レバーを“▶”に合わせると、再生モードで電源が入ります。
電源を切るには“OFF”に合わせます。

使用する言語と日時を設定する

ご購入後初めて電源を入れたときは、使用する言語と日時が設定されていません。確認画面が表示されますので、使用する言語と日時を設定しましょう。

❶ 電源を入れると言語設定画面が表示されます。

① 使用する言語を選びます。

② “MENU/OK” ボタンを押すと、設定が完了します。

❷ 日時を設定します。

① 設定したい項目（年、月、日、時、分）を選びます。

② ▲▼を押して日時設定を変更します。

メモ

- 設定中に▲または▼を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時設定で12を越えると自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

次ページにつづく

❸ 日付の並び順を変更します。

① “日付の並び順” を選びます。

② 並び順を設定します。

③ “MENU/OK” ボタンを押すと、設定が完了します。

日付の並び順について

例）2006年8月24日
年. 月. 日：2006.8.24
月/日/年：8/24/2006
日. 月. 年：24.8.2006

メモ

電池を取り外して長期間保管したときも言語設定と日時設定がクリアされ確認画面が表示されます。ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約2時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約6時間保持されます。

自動電源OFF機能

自動電源OFF機能を有効にすると、2分間（5分間）操作しないと自動的に電源が切れます（→125ページ）。電源を入れ直すには、いったん電源レバーを “OFF” に合わせ、再度 “📷” または “▶” に合わせます。

日時を再設定する

❶セットアップメニューを表示します。

① “MENU/OK” ボタンを押して、メニューを表示します。

② “SET セットアップ” を選びます。

③ セットアップ画面を表示します。

❷日時設定の画面を表示します。

① “1” を選びます。

② 項目選択へ移ります。

③ “日時設定” を選びます。

④ 日時設定の画面を表示します。➡「使用する言語と日時を設定する」（→29ページ）をご参照ください。

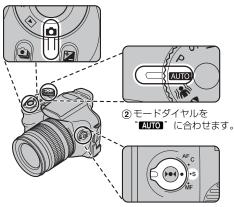
準備する

静止画を撮影してみましょう（オート撮影）

ここでは撮影の基本的な流れを説明します。ピント合わせなど、どんな状況でも必要な操作ばかりなので、まずはここをしっかりおさえておきましょう。

❶ 電源を入れます。

① 電源レバーを“📷”に合わせます。

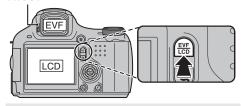
② モードダイヤルを“AUTO”に合わせます。

③ フォーカスモード切り換えレバーを“S-AF”に合わせます。

チェック！

- 撮影可能距離
  広角側：約40cm～無限遠(∞)
  望遠側：約2m～無限遠(∞)
- 近くのものを大きく撮影したいときは“🌷”近距離撮影に設定してください(→72ページ)。

❷ 使用する画面を切り換えます。

“EVF/LCD”ボタンを押すたびに、ファインダー(EVF)と液晶モニター (LCD)のどちらを使用するか切り換えられます。

メモ

- ファインダー (EVF)内のAFフレームが見にくいときは、視度調節ダイヤルで調節してください。
- EVF/LCDの切り換え設定は、モード切り換え、電源OFFでも保持されます。

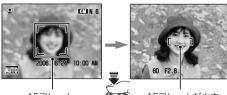
カメラの上手な構えかた

両手で構えて脇を締めます。
ファインダー (EVF)を使用すると自然に脇が締まり、ブレにくくなります。

指がレンズやフラッシュにかかっている。

注意

- 撮影するときにカメラが動くとブレた画像になってしまいます。しっかりと構えて撮影しましょう。
- レンズやフラッシュに指やストラップがかかったまま撮影するとピントが合わなかったり、適正な明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

❸ 被写体にAFフレームを合わせて、シャッターボタンを半押しします。

チェック！

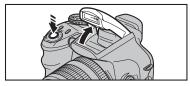
- **ピントが合ったとき**
  ピピッと音が鳴る、インジケーターランプが点灯［緑］
- **ピントが合わなかったとき**
  音が鳴らない、“**!AF**”が表示される、インジケーターランプが点滅［緑］

メモ

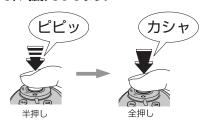
- ご購入後初めて“📷”撮影モードで電源を入れたときは、顔キレイナビが設定されています。
- シャッターボタンを軽く押すと途中で少し止まるところがあります。そこまで押すことを半押しといいます。半押ししたときにピントと明るさが決まります。
- シャッターボタンを半押しにすると、そのときレンズ動作音が発生します。

次ページにつづく

フラッシュ撮影について

フラッシュが閉じている状態でシャッターボタンを半押しすると、フラッシュが発光する場合は自動的にフラッシュがポップアップします。

また、そのとき画面に“⚡”が表示されます。

フラッシュを発光させたくないときなど、設定を変更する場合は73ページをご参照ください。

❹ 半押しの状態からさらに押し込んで（全押し）、撮影しましょう。

注意

フラッシュ撮影をした場合、フラッシュを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときインジケーターランプが橙色に点滅します。

メモ

- 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（→38ページ）。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。

フィルターについて

φ58mmの市販フィルターをご使用いただけます。

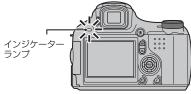
注意

- フィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。
- フィルターを使用しているときは、付属のレンズキャップは使用できない場合があります。

注意

- 撮影前に画面で見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（→43ページ）。
- シャッタースピードが遅く、手ブレしやすい状態のときは、画面に“!”が表示されます。表示された場合はフラッシュ撮影をするか三脚を使用してください。
- 警告表示については168〜172ページをご参照ください。そのほか疑問に感じたことなどがありましたら、「困ったときは」（→173〜177ページ）をご参照ください。

■ インジケーターランプ表示について

シャッターボタンを押したときなどに、点灯または点滅して状態をお知らせします。

表示	状態
緑点灯	AFロック中
緑点滅	手ブレ警告、AF警告、AE警告（撮影可能）
緑、橙の交互点滅	**xD-ピクチャーカード**または内蔵メモリーに記録中（撮影可能）
橙点灯	**xD-ピクチャーカード**または内蔵メモリーに記録中（撮影不可）
橙点滅	フラッシュ充電中（フラッシュ発光しません）
赤点滅	• **xD-ピクチャーカード**、内蔵メモリーについての警告 未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、**xD-ピクチャーカード**/内蔵メモリー異常 • レンズ動作異常

メモ

画面にも警告表示が表示されます。
（→168〜172ページ）

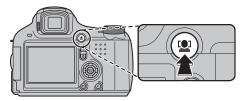
使ってみよう

顔キレイナビ（顔検出機能）を使用して撮影する

人物を撮影するとき、簡単に人物の顔にピントを合わせ、さらに顔を適正な明るさにして撮影することができます。縦位置での撮影も顔の検出は可能です。

使用可能撮影モード： AUTO、P、S、A、M

使用可能AFモード： S-AF（シングルAF）

① 顔キレイナビボタンを押します。押すたびにON/OFFが切り換わります。

複数の顔を検出したときは、中央付近の顔を優先して緑色の枠が設定され、ピントを合わせます。

緑色

注意

- 撮影の直前にカメラまたは被写体が動いたとき、撮影された顔の位置と顔枠の位置がずれて表示される場合があります。
- 複数の顔を検出した場合、中央付近の顔を優先して緑色の枠が設定されますので、ご希望の顔にピントを合わせたいときは、合わせたい顔が画面中央にくるように、カメラを動かしてください。
  それでもピントが合わないときは、顔キレイナビボタンを押して、顔キレイナビをOFFにしてから、AF/AEロック機能(→38ページ)を使用して撮影してください。
  ただし、白色の枠でも緑色の枠の顔と撮影距離が同じであればピントは合います。
- 顔が検出されていないときにシャッターボタンを半押しすると、画面中央付近でピントが合います。

② シャッターボタンを押し込んで撮影します。

顔キレイナビ（顔検出機能）の苦手な被写体

顔キレイナビでは、正面を向いた人物の顔にピントを合わせることができますが、次のような被写体についてはピントが合いにくいことがあります。

- サングラス、メガネ、帽子や前髪などで顔の一部がさえぎられているとき
- 撮影する人物の顔が横向き、または斜めに傾いているとき
- 撮影する人物との距離が遠すぎて、顔が小さすぎるとき

逆立ちした人物や、人物以外（ペットなど）の顔は検出しません。また、カメラを正しく構えていないときも検出しません。

ピントと明るさを固定して撮影する

上のような構図では被写体がAFフレームから外れているため、半押ししても被写体にピントは合いません。

このようなときに有効なのがAF/AEロック撮影です。

また、AF/AEロックはオートフォーカスの苦手な被写体（→39ページ）にも有効です。

> **注意**
>
> AF/AEロック撮影をするときは、“ ”顔キレイナビを解除してください。

AF/AEロック撮影のやりかた

① 被写体がAFフレームに入るようカメラを少し動かします。

② 半押ししてピントを合わせます。

半押し

③ 半押しのまま、撮りたい構図にカメラを動かして シャッターボタンを押し込みます。

全押し

メモ

- AF/AEロックの操作はシャッターを切る前なら何度でもやり直せます。
- カメラが自動的にピントを合わせることを「AF」、カメラが自動的に明るさを決めることを「AE」といいます。

オートフォーカスの苦手な被写体

このカメラは正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件、被写体についてはピントが合いにくいことがあります。

鏡、車のボディなど
光沢のあるもの

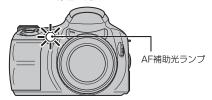
高速で移動する被写体

その他に、
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎のような実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（背景と同色の服を着ている人物など）
- 画面の中央付近に被写体の他に明暗差がはっきりしたものがあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

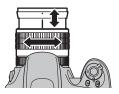
このような場合はAF/AEロック（→38ページ）または“MF”マニュアルフォーカス（→70ページ）をお使いください。

AF補助光について

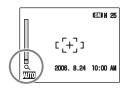
薄暗い場所でピントを合わせるための補助光です。
シャッターボタンを半押しするとピントが合うまでのあいだ、ランプが緑色に発光します。

メモ

- 発光しても撮影状況によってはピントが合いづらい場合があります。
- AF補助光の有効距離は、広角側で約4.5m、望遠側で約2.0mです。
- 安全上の問題はありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにしてください。
- マクロ撮影など被写体に近づいた撮影ではAF補助光の効果がないことがあります。
- AF補助光をOFFにするには、118ページをご参照ください。
- “▲、🏃、◎、🌅、🎵OFF、🍸、✲”ではAF補助光は発光しません。

ズームして撮影する

ズームリングを回すと、ズームで撮影することができます。ズーム操作しているとき、画面にズームバーが表示されます。

チェック！

光学ズーム焦点距離(35mmフィルム換算)
約28mm〜約300mm相当
最大ズーム倍率 10.7倍

“🔍”デジタルズームボタン（➝10、19ページ）を押すと、デジタルズーム(2倍)に切り換わります。
ズーム操作は光学ズームと同様にズームリングで行います。

チェック！

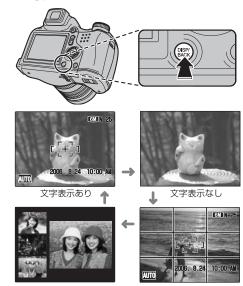
デジタルズームをしているとき、画面の左下に“ 🔍 ”が表示され、ズームバーの色が変わります。

メモ

もう一度、“ 🔍 ”ボタンを押すと、デジタルズームは解除されます。

構図を工夫するために

画面表示を切り換える

“DISP/BACK”ボタンを押すごとに画面表示が切り換わります。

フレーミングガイド表示

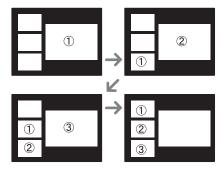
被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせると、被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

メモ

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

アシストウインドウ表示

アシストウインドウには3つ前までの画像が表示され、同じような構図で撮影するときの手助けになります。

■ アシストウインドウの表示順

メモ

アシストウインドウの画像は、次のときに自動的にクリアされます。
- 再生モードに切り換えたとき
- 電源が切れたとき
- PictBridge機能を使用したとき（→130ページ）
- パソコンと接続したとき（→149ページ）など

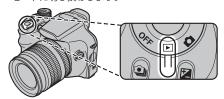
注意

CCD-RAW（→123ページ）を設定しているときは、アシストウインドウは表示されません。

撮影した画像を見る

思っていたとおりに撮影できているかどうか、再生して見てみましょう。
特に大切な撮影の時には試し撮りをして、確認してください。

再生モードに切り換える

撮影中に電源レバーを“▶”に合わせると、再生モードに切り換わります。

電源OFFのときに、電源レバーを“▶”に合わせると、再生モードで電源が入ります。

メモ

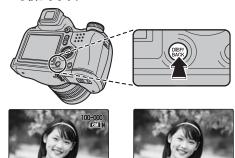
電源レバーを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が表示されます。

注意　再生できる静止画について

本機で記録した静止画、または **xD-ピクチャーカード** 対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画（一部非圧縮画像を除く）が再生できます。なお、本機以外のカメラで撮影した静止画はきれいに再生できない場合や、再生ズームができない場合があります。
本機以外のカメラで撮影した画像を再生した場合、画面に“🎁”プレゼントアイコンが表示されます。

画面表示を切り換える

“DISP/BACK”ボタンを押すごとに画面表示が切り換わります。

文字表示あり

文字表示なし

日付再生

マルチ再生

1コマ再生する

見たい画像を選びます。
◀：前の画像が表示されます。
▶：次の画像が表示されます。

“顔キレイナビ（顔検出機能）”

顔キレイナビ(→36ページ)で撮影した画像(画面に が表示されます)を再生して、 顔キレイナビボタンを押すと、本機で検出した顔に枠が表示されます。
顔キレイナビボタンを押すたびに表示される顔が切り換わります。
本機以外のカメラで撮影した画像には、顔に枠が表示されません。

コマサーチ

1コマ再生中に◀または▶を約1秒間押し続けると、一覧表示画面に切り換わり、画像の選択ができます。
ボタンをはなすと1コマ再生に戻ります。

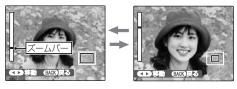
再生ズーム

❶拡大／縮小する

1コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。

▼ボタン（縮小）　▲ボタン（拡大）

拡大、縮小します。

メモ

再生ズームを解除するには、“DISP/BACK”ボタンを押します。

❷表示範囲を移動する

ナビゲーション画面
（現在の表示位置）

①表示を切り換えます。

②見える範囲を移動します。

メモ

ズーム画面に戻るには、“DISP/BACK”ボタンを押します。

■ ズーム倍率

ピクセル	最大ズーム倍率
6M（2848×2136ピクセル）	約4.5倍
3:2（3024×2016ピクセル）	約4.7倍
3M（2048×1536ピクセル）	約3.2倍
2M（1600×1200ピクセル）	約2.5倍

“顔キレイナビ（顔検出機能）”

顔キレイナビ(→36ページ)で撮影した画像(画面に が表示されます)は、 顔キレイナビボタンを押すたびに表示される顔が切り換わります。▲か▼を押すと、大きさを変えられます。◀か▶を押すと、移動画面となり、▲▼◀▶で見える範囲を移動できます。

マルチ再生する

9コマ表示され、そこから見たい画像を選ぶことができます。

①見たい画像を選びます。
▲か▼を数回押すと次のページが表示されます。

②“MENU/OK”ボタンを押すと、選んだ画像が大きく表示されます。

日付再生する

日付再生画面では、画像を撮影日ごとに見ることができます。

①見たい画像を選びます。

②“MENU/OK”ボタンを押すと、選んだ画像が大きく表示されます。

日付を切り換える

①カーソル（枠）を左上の“⇦”まで移動させます。

②日付選択に移ります。

③日付を選びます。
数回▲か▼を押すと次の日付ページが表示されます。

④画像選択に戻ります。

画像／動画を消去する（🗑消去）

▶再生モードにする
（→43ページ）

失敗写真などの不要な画像や動画を削除できます。
xD-ピクチャーカード や内蔵メモリーに空きを作りたいときや、整理したいときに使いましょう。

消去の方法を決める

①“MENU/OK”ボタンを押して、再生メニューを表示します。

②“🗑消去”を選びます。

③設定の変更に移ります。

④“1コマ”か“全コマ”を選びます。

⑤“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

1コマ消去する（1コマ）

①消去するコマ（ファイル）を選びます。

②“MENU/OK”ボタンを押すと、表示中のコマ（ファイル）が消去されます。

メモ

続けて消去するには上の操作を繰り返します。
消去を終えるには“DISP/BACK”ボタンを押します。

注意

“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。

すべてのコマを消去する（全コマ）

全コマ消去 OK?
処理に時間がかかる
場合があります
OK 実行　BACK やめる

“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）が消去されます。

メモ

全コマ消去中に“DISP/BACK”ボタンを押すと中止でき、いくつかのコマ（ファイル）が消去されずに残ります。

メモ

- **xD-ピクチャーカード** を使用中は、**xD-ピクチャーカード** 内の画像が消去され、使用していないときは、内蔵メモリーの画像が消去されます。
- プロテクトされたコマ（ファイル）は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください（→103ページ）。
- “プリント予約があります”が表示された場合、コマ（ファイル）を消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押してください。

注意

誤ってコマ（ファイル）を消去するともとに戻せません。消去したくないコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

撮影機能を使いこなす―設定の手順

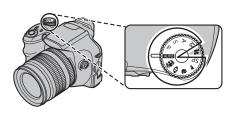
撮影シーンや仕上がりのイメージを思いうかべながら、次のような流れで設定します。

❶撮影モードを選ぶ

まず、モードダイヤルで撮影モードの設定をしましょう。
撮影モードを変えることによって多彩な表現ができます。

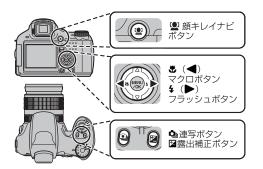
AUTOオート	最も簡単な操作で撮影できます（→52ページ）。
ブレ軽減	シャッタースピードを速くすることで手ブレだけでなく、被写体ブレも軽減できるモードです（→52ページ）。
Nナチュラルフォト 人物 ▲風景 SPシーンポジション	撮影シーンに適した撮影モードが設定できます（→53～59ページ）。
Pプログラムオート Sシャッタースピード優先オート A絞り優先オート	絞り、シャッタースピードを変更し、「一瞬をとらえる」「時間の流れをとらえる」「背景をぼかす」といった効果を得ます（→60～63ページ）。
Mマニュアル	すべての設定を調節して撮影できます。（→65ページ）。

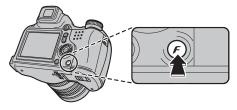
注意

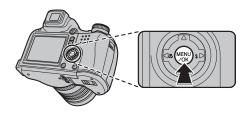
高温下で長時間の連続使用をすると、画質が劣化し、スジ状のノイズが出る場合があります。その場合は、できるだけこまめに電源を切り、カメラ本体の温度が上がらないようにご注意ください。

❷機能を設定する

ボタン操作やメニューで撮影機能を設定することで、写真の仕上がりイメージを変えられます。

■ ボタンで設定する機能

顔キレイナビ	人物を撮影するとき、顔にピントを合わせて撮影することができます（→36ページ）。
マクロ	近距離撮影で使用します（→72ページ）。
フラッシュ	暗い場所や逆光時の撮影に使用します（→73ページ）。
連写	連続撮影／オートブラケティング（露出補正）撮影ができます（→75ページ）。
露出補正	画像の明るさを変更するときに使用します（→67ページ）。

■ F-モード（“F”ボタン）で設定する機能

ISO感度	感度を変更できます（→83ページ）。
ピクセル	記録画素数を変更できます（→84ページ）。
FinePixカラー	色調を変更できます（→85ページ）。

■ 撮影メニュー（“MENU/OK”ボタン）で設定する機能

セルフタイマー	撮影者を含めた集合写真などで使用します（→86ページ）。
測光	被写体の明るさの測定方法を変更できます（P、S、A、Mのみ。ただし、Mに設定しているときは顔キレイナビがOFFのときのみ）（→88ページ）。
ホワイトバランス	撮影時の光源により、色合いが変わるのを適正な色にできます（P、S、A、Mのみ）（→88ページ）。
クイックショット	ピント合わせを速くできます（→90ページ）。
AFモード	ピント合わせの方法を変更できます（モードダイヤルがP、S、A、Mで、さらに顔キレイナビがOFFのときのみ）（→90ページ）。
シャープネス	輪郭をソフトにしたいときや、強調したいときに使用します。 また、撮影画質を調節するときに使用します（P、S、A、Mのみ）（→92ページ）。
フラッシュ（光量補正）	撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を調節するときに使用します（P、S、A、Mのみ）（→93ページ）。
ブラケティング	同じ画像を明るさ(露出)を変えて撮影したいときに使用します（P、S、A、Mのみ）（→93ページ）。

＊顔キレイナビがOFFのときの表示例です。

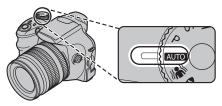
撮影モードを設定する

撮影モードを切り換えることで、撮影目的に応じた設定を行うことができます。

AUTO オート

最も簡単な操作できれいな写真が撮れます。
一般的なスナップ撮影に適しています。

-モード（ピクセル、FinePixカラー）以外の設定をすべてカメラに任せます。

モードダイヤルを“AUTO”に合わせます。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモード
  AUTO、👁、⚡、⊛
- ISO感度設定はAUTOのみとなります。

ブレ軽減

シャッタースピードを速くすることで手ブレだけでなく、被写体ブレも軽減できるモードです。

モードダイヤルを“ ”に合わせます。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモード
  AUTO、👁、⚡、⊛
- ISO感度設定はAUTOのみとなります。

ナチュラルフォト/高感度2枚撮り

ナチュラルフォトを使用して撮影するか、高感度2枚撮りを使用して撮影するかを選択できます。
撮影メニューの シーン選択から選択します。

モードダイヤルを“ ”に合わせます。

チェック！

感度設定はAUTOのみとなります。

■ ナチュラルフォト／高感度2枚撮りを選択する

① “MENU/OK” ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

② “ シーン選択” を選びます。

③ 設定の選択に移ります。

④ ナチュラルフォトか、高感度2枚撮りを選びます。

⑤ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

次ページにつづく

ナチュラルフォト

暗い場面でも、目で見たままの自然な雰囲気を残して、美しく撮影できます。室内での撮影やフラッシュを使用できない場所での撮影にも適しています。

自動的に高感度になり、暗い場所でも手ブレ、被写体ブレの軽減に効果があります。

チェック！

フラッシュは使用できません。

高感度2枚撮り

フラッシュ非発光／発光で連続撮影します。
発光時は被写体を明るく、非発光時は見た目の雰囲気を残して撮影されます。
タイプの違う写真が一度に撮影できる便利なモードです。

シャッターボタンを押すと、フラッシュ非発光、フラッシュ発光の順に撮影されます。
必ず2枚撮影します。撮影が終わるまで、カメラを動かさないようご注意ください。

メモ

逆光での撮影のときなどで、他の撮影モードよりも失敗写真を防ぐことができます。

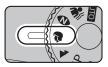
チェック！

- フラッシュが強制発光します。フラッシュ撮影が禁止されている場所では使用しないでください。
- 使用可能なフラッシュモード　、

注意

- xD-ピクチャーカード、または内蔵メモリーに2枚分以上の空き容量がない場合は撮影できません。
- “　”に設定すると連写設定は無効になります。
- “　”に設定しているときは、CCD-RAW(→123ページ)での撮影はできません。

人物

人物の撮影に適しています。
肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。

モードダイヤルを“ ”
に合わせます。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモード
  AUTO、 、 、 、S 、
- 感度設定はAUTOのみとなります。

風景

昼間の風景撮影に適しています。
建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。

モードダイヤルを“▲”
に合わせます。

チェック！

- フラッシュは使用できません。
- 感度設定はAUTOのみとなります。

SP シーンポジション

場面に応じた10種類の撮影モードを選択できます。
各撮影モードは、撮影メニューの📷シーン選択から選択します。

モードダイヤルを“SP”に合わせます。

チェック！

- 使用可能なフラッシュモードについては、74ページをご参照ください。
- ISO感度設定はAUTOのみとなります。
- “F”FinePixカラーの“C”F-クローム（→85ページ）の設定はできません。

■ シーン選択をする

① “MENU/OK”ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

② “📷シーン選択”を選びます。

③ 設定の選択に移ります。

④ シーンを選びます。

⑤ “MENU/OK”ボタンを押して決定します。

スポーツ

動いている被写体の撮影に適しています。
高速シャッターでの撮影が行われます。

チェック！

“ ”に設定すると自動的に クイックショット（→90ページ）に設定されます。

夜景

夕景や夜景の撮影に適しています。
最長4秒のスローシャッターでの撮影が行われます。

チェック！

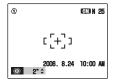
スローシャッターになるので、手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

花火

打ち上げ花火の撮影に適しています。
スローシャッターで花火を色鮮やかに撮影できます。

チェック！

- フラッシュは使用できません。
- シャッタースピードの設定：1/2秒〜4秒
- 手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

■ 露光時間の設定

露光時間を設定します。

夕焼け

夕焼けを赤く鮮やかに撮影できます。

スノー

画面全体が白くなる雪景色などで、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。

ビーチ

日差しの強い浜辺で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影できます。

美術館

美術館などのフラッシュ光や操作音・シャッター音を避けた方が良い場所での撮影で使用します。
フラッシュが発光禁止になり、操作音・シャッター音・AF補助光ランプ／セルフタイマーランプはオフになります。

 メモ

美術館などでは撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

パーティー

室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。薄暗い場所でも雰囲気を残した撮影ができます。

✲花の接写

花に近づいて、大きくきれいに撮影できます。
花びらの色を鮮やかに撮影します。

チェック！

- フラッシュは使用できません。
- ピントが合う範囲
  広角側：約1cm～約2.0m
  望遠側：約90cm～約2.0m

TEXT 文字の撮影

書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。
文字がはっきりとわかるように撮影されます。

チェック！

ピントが合う範囲
広角側：約1cm～約2.0m
望遠側：約90cm～約2.0m

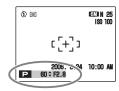
P プログラムオート

シャッタースピード／絞り以外の各種設定ができるオートモードです。
比較的簡単に“S”シャッタースピード優先オートや“A”絞り優先オートのように撮影できます(プログラムシフト)。

モードダイヤルを“P”に合わせます。

- 測光(→88ページ)
- ホワイトバランス(→88ページ)
- AFモード(→90ページ)
- シャープネス(→92ページ)
- フラッシュ (→93ページ)
- ブラケティング(→93ページ)

が設定できます。

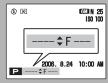
■ プログラムシフトの設定

露出値を変えずにシャッタースピード、絞り値の組み合わせを切り換えることができます。

チェック！

使用可能なフラッシュモード
AUTO、👁、⚡、🚫、S⚡、SLOW

メモ

- プログラムシフト中は、シャッタースピード、絞り値が黄色で表示されます。
- プログラムシフトは、次のとき自動的に解除されます。
  - 撮影モードを切り換えたとき
  - フラッシュの設定を切り換えたとき
  - 再生モードに切り換えたとき
  - 電源が切れたとき

注意

- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、画面内のシャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。
- プログラムシフトは、フラッシュの設定が🚫フラッシュ発光禁止(→73ページ)のときにのみ、使用できます。

S シャッタースピード優先オート

シャッタースピードを設定できるオートモードです。
動きの一瞬をとらえる（高速）、動きを表現する（低速）などの撮影ができます。

モードダイヤルを“S”に合わせます。

- 測光(→88ページ)
- WB ホワイトバランス(→88ページ)
- AFモード(→90ページ)
- シャープネス(→92ページ)
- フラッシュ (→93ページ)
- ブラケティング(→93ページ)

が設定できます。

チェック！

使用可能なフラッシュモード
、、

■ シャッタースピードの設定

① “▲▼”を押して、シャッタースピードを設定します。

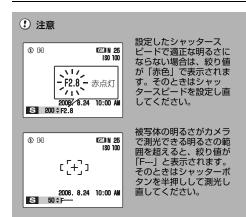
② 通常どおり撮影します。

チェック！

シャッタースピードの設定
広角側：4秒〜1/4000秒　1/3EVステップ
望遠側：4秒〜1/2000秒　1/3EVステップ

注意

設定したシャッタースピードで適正な明るさにならない場合は、絞り値が「赤色」で表示されます。そのときはシャッタースピードを設定し直してください。

被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「F---」と表示されます。そのときはシャッターボタンを半押しして測光し直してください。

シャッタースピードについて

シャッタースピードを調節することで、動きのある被写体の写りかたが変わります。
シャッタースピードを速くすると動きの一瞬をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると動きの軌跡を写すことができます。

被写体が止まったように撮影されます。

被写体の軌跡が撮影されます。

A 絞り優先オート

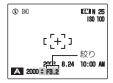
絞り値を設定できるオートモードです。
被写体の前後をぼかす（開放）、遠くまでピントを合わせる（絞る）撮影ができます。

モードダイヤルを
“A”に合わせます。

- 測光(→88ページ)
- ホワイトバランス(→88ページ)
- AFモード(→90ページ)
- シャープネス(→92ページ)
- フラッシュ (→93ページ)
- ブラケティング(→93ページ)

が設定できます。

チェック！

使用可能なフラッシュモード
、、、、

■ 絞り値の設定

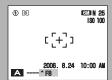
①“▲▼”を押して、絞り値を設定します。

②通常どおり撮影します。

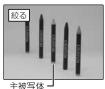
チェック！

絞り値の設定
　広角側：F2.8〜F8　1/3EVステップ
　望遠側：F4.9〜F8　1/3EVステップ

注意

設定した絞り値で適正な明るさにならない場合は、シャッタースピードが「赤色」で表示されます。そのときは絞り値を設定し直してください。
ただし、フラッシュ強制発光に設定したときは最長シャッタースピードが1/45秒までになります。

被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「----」と表示されます。そのときはシャッターボタンを半押しして測光し直してください。

絞りについて

絞り値を調節することで、ピントの合う範囲（被写界深度）が変わります。
絞り値を大きくする（絞る）とピントの合う範囲が広くなり、絞り値を小さくする（開く）と被写体の前後をぼかすことができます。

被写体の前後にもピントが合って撮影されます。

被写体の前後がぼやけて撮影されます。

M マニュアル

シャッタースピードや絞り値を含めた各種設定ができる撮影モードです。
撮影機能を自由に設定することで、多彩な表現ができます。

モードダイヤルを“M”に合わせます。

- 測光(→88ページ)
- ホワイトバランス(→88ページ)
- AFモード(→90ページ)
- シャープネス(→92ページ)
- フラッシュ (→93ページ)
- ブラケティング(→93ページ)

が設定できます。

チェック！

使用可能なフラッシュモード
　、、

■ シャッタースピードの設定

① “▲▼” を押して、シャッタースピードを設定します。

② 通常どおり撮影します。

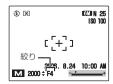
チェック！

シャッタースピードの設定
　30秒～1/4000秒　1/3EVステップ

メモ

- 手ブレ防止のため、三脚の使用をおすすめします。
- 長時間露光したときは、画像に点状のノイズが発生することがあります。

 注意

1/2000秒より高速なシャッタースピードを設定して撮影すると、スミア（→183ページ）が写ることがあります。

■ 絞り値の設定

①“Ⓩ”露出補正ボタンを押しながら、“▲▼”を押して、絞り値を設定します。

②通常どおり撮影します。

チェック！

絞り値の設定
　広角側：F2.8〜F11　1/3EVステップ
　望遠側：F4.9〜F11　1/3EVステップ

メモ

用語解説「EV」(→183ページ)。

露出インジケーターについて

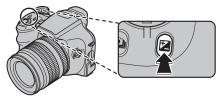
画面の露出インジケーターを目安に露出を決定します。被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、露出インジケーターが消えます。

画像の明るさを変える（露出補正）

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）にならない場合に使用します。

使用可能撮影モード：P、S、A（→60、61、63ページ）

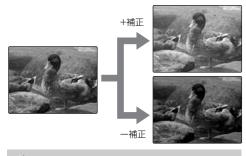
画像の明るさを変える

“”露出補正ボタンを押して露出補正の設定画面を表示します。

> **注意**
>
> P、S、A以外の撮影モードでは使用できません。

①“”露出補正ボタンを押しながら、“◀▶”を押して露出を変更します。

②通常どおり撮影します。

> **チェック！**
>
> ・補正した側の“－”または“＋”が黄色で表示されます。
> ・露出補正の設定をしているときは""が黄色で表示され、設定が完了すると、青色で表示されます。
> ・露出補正に応じて、画面でも明るさの確認ができます。

次ページにつづく

チェック！

- 補正範囲：–2EV〜+2EV
  （13段階：約1/3EVステップ）
- 用語解説「EV」（→183ページ）

メモ

- 露出補正の設定は、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます（“ ”点灯）。必要のないときは設定値を“0”にしてください。
- 次のような状態では、露出補正は無効になります。
  - AUTOまたは“ ”赤目軽減でフラッシュが発光したとき
  - “ ”強制発光で撮影シーンが暗いとき

露出補正の目安

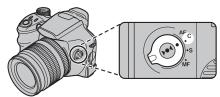
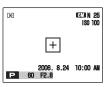
- 逆光の人物撮影：
  +2目盛〜+4目盛
  （+2/3EV〜+1 2/3EV）

- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：
  +3目盛（+1EV）

- 画像の大部分を空が占める場合：
  +3目盛（+1EV）
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：
  −2目盛（–2/3EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：
  −2目盛（–2/3EV）

コンティニュアスAFを使用して撮影する

動いている被写体を撮影するときに使用します。コンティニュアスAFを使用すると、ピントを合わせる時間を短くすることができます。
使用可能撮影モード：◉以外の撮影モード

① フォーカスモード切り換えレバーを“C-AF”に合わせます。

② 被写体にAFフレームを合わせます。コンティニュアスAFでは、AFフレーム内の主被写体にピントを合わせ続けます。

③ シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせてから、そのまま押し込んで(全押し)、撮影します。

半押し　全押し

注意

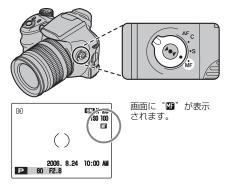
コンティニュアスAFはシャッターボタンを押さなくても常にピントを合わせ続けるため、次のことにご注意ください。
- 他のフォーカスモード(S-AF、MF)より消費電力が増加するので、電池の残量に注意してください。
- 自動電源OFFを“OFF”に設定しているときは、特に電池の残量に注意が必要です。

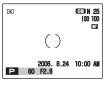
マニュアルフォーカスを使用して撮影する

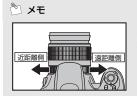
ピントを固定して撮影したいときに使用します。
使用可能撮影モード：すべての撮影モード

① フォーカスモード切り換えレバーを"MF"に合わせます。

画面に"MF"が表示されます。

注意

- "🎥"動画撮影モードでは使用できません。
- 撮影メニューの[■]AFモード（→90ページ）は設定できません。

② "▶●◀"ワンプッシュ AFボタンを押して、フォーカスフレーム内の被写体にピントを合わせます。

画面にフォーカスインジケーターが表示されるので、"（）"ターゲットが黄色表示になっているかを確認します。

メモ

"（）"ターゲットが黄色表示になっていない場合は、フォーカスリングを回して調節します。

■ フォーカスインジケーターについて

ピント合わせをある程度行う(合焦位置に近づく)と、下の表に記載されているようなマークが表示されます。表示されているマークに従ってピントを合わせます。

( )（黄色）	ピントが合っています。
( )◀	ピントが近距離です。フォーカスリングを時計回りに回します。
( )▶	ピントが遠距離です。フォーカスリングを反時計回りに回します。

メモ

- マニュアルフォーカスを使用して無限遠にピントを合わせるときは、無限遠に近い被写体に“( )”ターゲットを合わせてください。フォーカスリングを回し続けると無限遠を超えたフォーカス位置になり、ピントが合いません。
- カメラが動くとピントがずれてしまうので、マニュアルフォーカスを使いこなすためには三脚を使用してください。

ワンプッシュ AF機能について

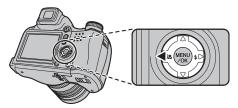
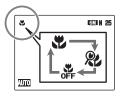
素早くピントを合わせるときに使用します。“▶●◀”ワンプッシュ AFボタンを押すと、オートフォーカスでピントが合います。

注意

- ワンプッシュ AF使用時は、フォーカスインジケーターは表示されません。
- 撮影モードが“◎”のときに、“▶●◀”ワンプッシュ AFボタンを押すと、無限遠にピントが合います。

近距離撮影をする（マクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使用します。
使用可能撮影モード：AUTO、、、、、P、S、A、M

“（◀）”ボタンを押して、マクロに設定します。
“（◀）”ボタンを押すたびにマクロの設定が変わります。

マクロ設定中は“”または“”が表示されます。

注意

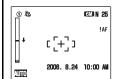
- スーパーマクロを設定しているときは、フラッシュは使用できません。
- “高感度2枚撮り”では、スーパーマクロは使用できません。

チェック！

- マクロ撮影でピントが合う範囲
  広角側：約10cm～約3.0m 望遠側：約90cm～約3.0m
- スーパーマクロ撮影でピントが合う範囲
  約1cm～約1.0m(広角側のみ)
- マクロ撮影でのフラッシュ撮影可能距離
  広角側：約30cm～約2.0m
  望遠側：約90cm～約2.0m

メモ

- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影は次のとき自動的に解除されます。
  - モードダイヤルを“、、SP（以外）、”に切り換えたとき
  - 電源が切れたとき
- フラッシュが明るすぎる場合は、フラッシュの光量補正を行ってください(→93ページ)。
- AFモードをオートエリア(→91ページ)に設定しても、中央付近でピントが合います。
- マクロ撮影など被写体に近づいた撮影ではAF補助光の効果がないことがあります。

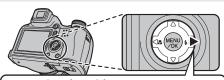
スーパーマクロについて

スーパーマクロは広角側のみでご使用ください。
それ以外でご使用になると、“⬇”と“!AF”が表示されますので、“⬇”に従ってズームリングを回してください。

ϟフラッシュ撮影する（iフラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときはフラッシュを使うことが有効です。撮影の目的に合わせて6種類のフラッシュ設定ができます。使用可能な撮影モードについては74ページを参照してください。

メモ　iフラッシュとは

被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に判断し、シーンに最適なフラッシュの発光量と感度を自動調整します。薄暗い室内などでも、人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影することができます。
フラッシュ撮影するときは、常にiフラッシュで撮影されます。

AUTO → 👁 → ϟ → Ⓢ → Sϟ → 👁SLOW

ϟ"(▶)"ボタンを押して、フラッシュの発光のしかたを設定します。

メモ

フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しにすると、画面に"ϟ"が表示されます。

AUTO オートフラッシュ（表示なし）

一般的な撮影で使用します。
カメラが暗いと判断したときに自動的に発光します。

👁赤目軽減フラッシュ

暗い場所で人物を撮影するのに適しています。ひとみが赤く写る（赤目現象）のを軽減します。

メモ

人物を暗いところでフラッシュ撮影したとき、フラッシュの光が目の中で反射することにより、目が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。

ϟ強制発光フラッシュ

逆光で被写体が暗くなっている場合などに適しています。周囲の明るさに関係なくフラッシュが発光します。

Ⓢ フラッシュ発光禁止

フラッシュ撮影禁止の場所などで撮影するときに適しています。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
どのような場合でもフラッシュは発光しません。

Sϟ スローシンクロ、👁SLOW 赤目軽減+スローシンクロ

夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。必ず三脚をご使用ください。"👁SLOW"では同時に赤目を軽減できます。
"☾夜景"で最長4秒のスローシャッターになります。

注意

明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。

チェック！

■ 撮影モード別のフラッシュ設定
撮影モードにより、使用できるフラッシュ設定が変わります。

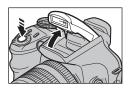
	AUTO					
AUTO	○	○	○	○	×	×
	○	○	○	○	×	×
N	×	×	×	○	×	×
N	×	○	○	×	×	×
	○	○	○	○	○	○
	×	×	×	○	×	×
	○	×	○	○	×	×
	×	×	×	○	○	○
	×	×	×	○	×	×
	×	○	×	○	×	×
	○	○	○	○	×	×
	○	○	○	○	×	×
OFF	×	×	×	○	×	×
	×	○	×	×	×	×
	×	×	×	○	×	×
TEXT	×	×	○	○	×	×
P	○	○	○	○	○	○
S	×	○	○	○	×	×
A	×	○	○	○	○	○
M	×	○	○	○	×	×

チェック！

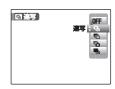
■ フラッシュ撮影可能距離（“ISO”：AUTO時）
広角側：約60cm〜約8.3m
望遠側：約2.0m〜約4.6m
これよりも遠くなるとフラッシュを使用しても暗くなってしまいます。

注意　フラッシュ使用時の注意

- 1/1000秒より高速なシャッタースピードのときは、フラッシュが発光しても暗くなることがあります。
- フラッシュ充電中（インジケーターランプが橙点滅）にシャッターボタンを押すとフラッシュ発光せずに撮影されます（AUTO、のとき）。
- 電池の残量が少ない場合、フラッシュ充電時間が長くなることがあります。
- フラッシュ撮影をした場合、フラッシュを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときインジケーターランプが橙色に点滅します。
- フラッシュは数回発光します（予備発光、本発光）。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

フラッシュオートポップアップ機能について

本機は撮影状況に応じてフラッシュが自動的にポップアップして発光します。フラッシュを発光させたくない場合は、“”発光禁止に設定してください。

連続撮影する

動いている被写体などを続けて撮影するのに適しています。

“ ”連写ボタンを押しながら、“▲▼”を押して使用する連写モードを選びます。“ ”連写ボタンから指をはなすと設定されます。

：連写
：オートブラケティング
：サイクル連写
：エンドレス連写

注意　連写時の注意

- シャッターボタンを押し続けている間撮影されます。ただし、オートブラケティングを設定しているときは、一度シャッターを切ると自動的に3コマ撮影されます。
- 内蔵メモリー、**xD-ピクチャーカード** の容量が不足すると、記録可能な枚数分まで記録されます。ただし、オートブラケティングは、内蔵メモリーや **xD-ピクチャーカード** に3コマ分の空き容量がないときは撮影できません。
- ピントは1コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません（エンドレス連写を除く）。
- 露出は1コマ目を撮影したときに決定されますが、エンドレス連写ではシーンに応じて自動的に変わります。
- シャッタースピードにより連写速度は変わります。
- フラッシュは“ ”発光禁止(→73ページ)になり使用できません。ただし、通常の撮影に設定し直すと、連写に設定する前に使用していたフラッシュに再設定されます。
- 連写、オートブラケティング、サイクル連写では、撮影後、必ず撮影結果が表示されます（ただし、エンドレス連写は撮影結果が表示されずに、自動的に記録されます）。
- サイクル連写、エンドレス連写では、セルフタイマーと併用すると1コマしか撮影されません。
- “ 高感度2枚撮り”では連写は設定できません。
- 3コマ連写、オートブラケティング、サイクル連写で撮影したファイルは記録時間が長くなることがあります。

連写

使用可能撮影モード：以外の撮影モード

シャッターボタンを押している間、最短約0.45秒間隔で最大3コマ連写できます。

オートブラケティング

使用可能撮影モード：P、S、A、M

自動的に設定値きざみで Ⓐ 適正、Ⓑ オーバー、Ⓒ アンダーの露出で3コマ連続して撮影されます。設定値(露出幅)は撮影メニューの ブラケティングで変更できます。

チェック！

オートブラケティング設定値(3種類)
±1/3EV、±2/3EV、±1EV

注意

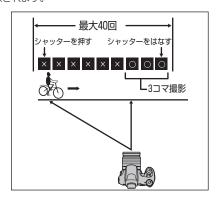
- アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定値きざみで撮影されません。
- P、S、A、M以外の撮影モードでは使用できません。

メモ　設定値(露出幅)の変更

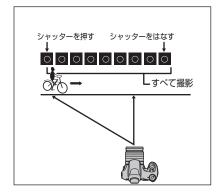
MENU/OKボタンを押して撮影メニューを表示し、 ブラケティング(→93ページ)の項目で設定を変更します。

サイクル連写

使用可能撮影モード：以外の撮影モード

シャッターボタンを押し続けている間、最大40回（最短約0.45秒間隔）シャッターが切れます。
シャッターボタンから指をはなすと、直前の3コマが記録されます。

エンドレス連写

使用可能撮影モード：以外の撮影モード

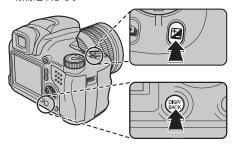
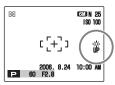
シャッターボタンを押し続けている間、内蔵メモリーまたは **xD-ピクチャーカード** の空き容量分撮影します。

メモ

アシストウインドウ撮影（→42ページ）と併用できます。

画面を明るくする

屋外などで画面を確認しにくいときに、一時的に明るくできます。

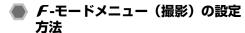
画面を明るくする

“±”露出補正ボタンを押しながら、“DISP/BACK”ボタンを押すと、画面が明るくなります。もう一度“±”露出補正ボタンを押しながら、“DISP/BACK”ボタンを押すと、明るさアップが解除されます。

明るさアップ中は、画面上で“☼UP”が点滅します。

メモ

- この機能は撮影ごとに自動的に解除されます。
- 本機能使用時は画面にノイズが増えますが、撮影画像には影響ありません。
- この機能は構図の確認専用で、撮影される画像の明るさは変わりません。
- 暗闇では明るさアップを行っても、被写体の確認はできません。
- 被写体によっては、色が正確に表示されない場合があります。

F-モードメニュー（撮影）／撮影メニューを使う

画質調節やピント合わせの方法などを設定でき、撮影の幅が広がります。

F-モードメニュー（撮影）の設定方法

① “F” ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

② 変更する項目を選びます。

③ 設定の変更に移ります。

④ 設定を変更します。

⑤ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

撮影メニューの設定方法

＊顔キレイナビがOFFのときの表示例です。

① “MENU/OK” ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

② 変更する項目を選びます。

③ 設定の変更に移ります。

④ 設定を変更します。

⑤ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

■ F-モードメニュー一覧

メニュー	機能	設定	工場出荷時
ISO感度 (→83ページ)	光に対する感度を変更できます。 ISO感度の設定値が大きいほど高感度になり、暗い場面でも撮影できます。	AUTO/3200/1600/800/400/200/100	200
ピクセル (→84ページ)	記録される画像の大きさを変更できます。大きいほど画質が良く、小さいほど多くの枚数を撮影できます。	6MF/6MN/3:2/3M/2M/03M	6MN
FinePixカラー (→85ページ)	色調を変更できます。 鮮やかな色や黒白に撮影できます。	STD/C/B	STD

■ 撮影メニュー一覧

メニュー	機能	設定	工場出荷時
シーン選択 (→53ページ)	モードダイヤルが“N”のときに設定できます。 撮影場面に応じたシーン設定ができます。	N/N⚡	N
シーン選択 (→56ページ)	モードダイヤルが“SP”のときに設定できます。 撮影場面に応じたシーン設定ができます。	/////// /OFF/// TEXT	
セルフタイマー (→86ページ)	すべてのモードで設定できます。 撮影者を含めた集合写真などで使用します。	10（10秒）/ 2（2秒）/OFF	OFF
測光 (→88ページ)	モードダイヤルが“P、S、A、M”のときに設定できます。 ただし、Mに設定しているときは顔キレイナビがOFFのときにのみ設定できます。 カメラが被写体の明るさを判断する方法を変更できます。	[◎]/[•]/[ ]	[◎] （顔キレイナビがOFFのとき）
WBホワイトバランス (→88ページ)	モードダイヤルが“P、S、A、M”のときに設定できます。 撮影時の光源によって色合いが変わるのを、適正な色にできます。	AUTO/□/☀/⛅/1/2/3/☼	AUTO
クイックショット (→90ページ)	すべてのモードで設定できます。撮影モードが“”のときは常時ONになります。 ピント合わせのスピードを速くできます。	ON/OFF	OFF

■ 撮影メニュー一覧

メニュー	機能	設定	工場出荷時
AFモード(→90ページ)	モードダイヤルが“P、S、A、M”で、さらに顔キレイナビがOFFのときに設定できます。 ピントの合わせかたを変更できます。	/ /	(顔キレイナビがOFFのとき)
シャープネス(→92ページ)	モードダイヤルが“P、S、A、M”のときに設定できます。 輪郭をソフトにしたいときや、強調したいときに使用します。また、撮影画質を調節するときに使用します。	ハード/スタンダード/ソフト	スタンダード
フラッシュ(→93ページ)	モードダイヤルが“P、S、A、M”のときに設定できます。 撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を調節するときに使用します。	−2/3EV～+2/3EV(約1/3EVステップ)	0
ブラケティング(→93ページ)	モードダイヤルが“P、S、A、M”のときに設定できます。同じ画像を明るさ(露出)を変えて撮影できます。	±1/3EV/±2/3EV/±1EV	±1/3EV

メモ

撮影モードによってメニュー表示が変わります。

・AUTO、、、▲時

・、、、、、、、、、、、TEXT時

・時

・P、S、A、M時

＊顔キレイナビがOFFのときの表示例です。

感度を変更する（ISO感度）

光に対する感度を変更することができます。
ISO感度の設定値が大きいほど高感度になり、暗い場所での撮影が可能になります。

チェック！

■ ISO感度の設定値
AUTO、100、200、400、800、1600、3200

AUTOは被写体の明るさに応じて、感度が自動的に設定されます。

AUTO以外のときは設定値が表示されます。

メモ

- 撮影モードが“P、S、A、M”のとき、ISO感度設定ができます。それ以外の撮影モードはAUTOのみです。
- 撮影モードが“P、S、A、M”のとき、ISO感度設定でAUTOは選択できません。

注意

高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。状況に応じて感度設定を使い分けてください。

記録される画像の大きさを変える（ピクセル）

記録される画像の大きさを変更できます。
画質重視か枚数重視か目的に応じて使い分けましょう。

■ ピクセル設定と用途例

ピクセル	用途例
6M F（2848×2136） 6M N（2848×2136）	六切、四切、A4サイズ程度でプリントする場合。 画質を優先する場合は“6M F”を選んでください。
3:2（3024×2016）	
3M（2048×1536）	DSCW、2L、HV、A5サイズ程度でプリントする場合。
2M（1600×1200）	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M（640×480）	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

■ プリントサイズ早見表

四切	254mm×305mm
A4	210mm×297mm
六切	203mm×254mm
A5	148mm×210mm
2L	127mm×178mm
DSCW	127mm×169mm

A6	105mm×148mm
ハガキ	102mm×152mm
HV	89mm×158mm
L	89mm×127mm
DSC	89mm×119mm

写せる範囲とピクセルについて

通常

3:2

“3:2”は、他の記録画素数が画像比率4：3で記録されるのに対して、3：2の比率（フィルム・ポストカードと同じ比率）で撮影されます。

メモ

- ピクセルが大きいほど画質が良くなり、小さいほど1枚の **xD-ピクチャーカード** により多くの枚数を記録することができます。
- ピクセルは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。
- ピクセルを変更すると撮影可能枚数（→182ページ）が変わります。設定の右側の数字が撮影可能枚数です。

注意

CCD-RAW（→123ページ）を設定しているときは、“ ”ピクセルの設定ができません。

色調を変更する（FinePixカラー）

色調を変更できます。
色鮮やかに撮影したり、黒白で撮影できます。

チェック！

■ FinePixカラーの設定

F-スタンダード	コントラスト、色味を標準に設定します。通常はこの設定でお使いください。
F-クローム	コントラスト、色が強めに撮影されます。花などがより鮮やかに撮影され、効果を発揮します。
F-B&W	撮影した画像を黒白にするときに設定します。

設定が“F-クローム”、“F-B&W”のときは画面にアイコンが表示されます。

注意

撮影モードが“、▲、SP”のとき、“F-クローム”は表示されません。

メモ

“F-クローム”は被写体によっては効果がわかりにくい場合や、シーンによって効果が異なる場合があります。また、画面では差がわからない場合もあります。

メニューの設定方法
（→79ページ）

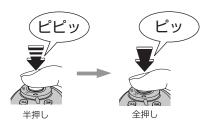
セルフタイマーを使って撮影する（セルフタイマー）

使用可能撮影モード：すべての撮影モード

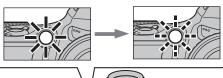
撮影者を含めた集合写真などを撮影するときに使用します。
セルフタイマーを設定すると、画面にアイコンが表示されます。

：10秒後撮影
：2秒後撮影

“顔キレイナビ（顔検出機能）”
セルフタイマーを設定した後、顔キレイナビボタンを押すと、ピントが合っていなくても、撮影する人物の顔を検出し、顔にピントを合わせて撮影することができます。
自分撮りのときなどに便利です（セルフポートレート）。

❶ 半押しで被写体にピントを合わせて、全押しします。

シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。
半押しからそのまま押し込むとセルフタイマーが開始されます。

❷ 設定した時間で撮影されます。

セルフタイマーランプが点灯から点滅に変わり、撮影されます（2秒後撮影は点滅のみ）。

撮影されるまでの間、画面にカウントダウン（秒読み）表示されます。

2秒後撮影について

三脚などでカメラを固定している場合でも、シャッター操作でカメラが動いてしまうことがあります。
そのような場合に2秒後撮影が有効です。

メモ

- 開始したセルフタイマー撮影は“DISP/BACK”ボタンで中止できます。
- セルフタイマーは次のとき自動的に解除されます。
  - 撮影が完了したとき
  - モードダイヤルを切り換えたとき
  - 再生モードに切り換えたとき
  - 電源が切れたとき
- レンズの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピンボケになったり、適正な明るさにならないことがあります。

明るさの測定方法を変える（測光）

使用可能撮影モード：P、S、A、M（ただし、Mに設定しているときは顔キレイナビがOFFのときにのみ）

撮影条件によって使用している測光方法では適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

＊顔キレイナビがOFFのときの表示例です。

[◎]マルチ（分割測光）：
自動で場面を判別し露出が最適になるよう測光します。

[●]スポット：
画面中央部の露出が最適になるように測光します。

[　]アベレージ
場面全体を平均して測光します。

測光モードを効果的に使うために

- マルチ
  シーン自動認識により被写体を分析し、幅広い条件で適正な露出が得られます。
- スポット
  逆光時など被写体と背景の明るさが大きく異なる条件で、被写体に正しく露出を合わせます。
- アベレージ
  構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに有効です。

色合いを調節する（ホワイトバランス）

使用可能撮影モード：P、S、A、M

太陽光や照明など撮影時の光源によって白色の色合いが変わるのを、見た目に近い白色に調節することができます。

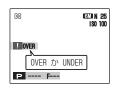
AUTO	：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。
カスタム	：白紙などを使って、撮影状況に対して最適なホワイトバランスを設定します。
晴れ	：晴天の屋外での撮影用です。
日陰	：曇天や日陰などでの撮影用です。
蛍光灯1	：昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯2	：昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯3	：白色蛍光灯の下での撮影用です。
電球	：電球、白熱灯の下での撮影用です。

カスタムホワイトバランスを設定する

① メニューで“カスタム”を選びます（→79ページ）。
② 白い紙などを画面いっぱいに表示してシャッターボタンを押し、白の基準を設定します。

メモ

- 画面にホワイトバランスは反映されません。
- 前回設定したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンは押さずに“MENU/OK”ボタンを押してください。

③ “GOOD!”と表示されたら、“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

［OVER］が表示された場合は“−（マイナス）”側に、［UNDER］が表示された場合は“＋”側に露出補正してください（→67ページ）。

カスタムホワイトバランスの使用例

白い紙の代わりに色のついたものを使用すると、それを白の基準にするので、色味を意図的に変更することができます。

メモ

- ホワイトバランスがAUTO時は、人物の顔アップや特殊な光源下では、正しい色味にならない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスに設定してください。
- フラッシュ発光時のホワイトバランス（カスタムホワイトバランスを除く）はフラッシュ用の設定になります。
  光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを“⚡”発光禁止（→73ページ）に設定してください。
- 設定したカスタムホワイトバランスは、再設定するまで保持されます（電池を取り出しても保持されます）。
- 撮影環境(光源など)によって多少色味が変わる場合があります。
- 撮影後、再生して画像の色味(ホワイトバランス)を確認することをおすすめします。
- 用語解説「ホワイトバランス」（→184ページ）。

ピント合わせを早くする（クイックショット）

使用可能撮影モード：すべての撮影モード

シャッターボタンを半押しにしたときのピント合わせの時間が短くなり、すばやく撮影できます。

シャッターチャンスを逃したくないときなどに有効です。

注意

セットアップメニューの EVF/LCD表示の設定はできません（→119ページ）。

メモ

- 撮影可能距離
  広角側：約2.0m～無限遠(∞)
  望遠側：約4.0m～無限遠(∞)
- クイックショットをONにして撮影すると、電池の消耗が早くなります。
- 撮影モードが“ ”のときは自動的に設定されます。

ピント合わせの方法を変える（AFモード）

使用可能撮影モード：P、S、A、M（顔キレイナビがOFFのとき）

被写体に応じてピント合わせの方法を変更できます。

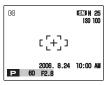
：センター固定
：オートエリア
：エリア選択

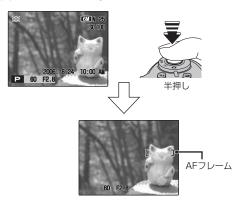
* 顔キレイナビがOFFのときの表示例です。

注意

AFモードは、フォーカスモードがS-AF（→32ページ）のときにのみ選択できます。

センター固定

画面中央でピントを合わせます。
AF/AEロック撮影（→38ページ）を併用するとより効果的です。

オートエリア

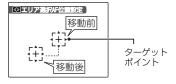
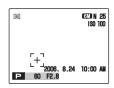
シャッターボタンを半押しすると、画面中央付近のコントラストが高い被写体を自動認識し、ピントを合わせた位置にAFフレームが表示されます。

注意

マクロ撮影時は中央付近でピントが合います。

メモ

ピントを合わせたい位置にAFフレームが表示されない場合は、AFモードを“回 センター固定”にしてAF/AEロック機能（→38ページ）をお使いください。

エリア選択

画面内でピントを合わせる位置を変えることができます。三脚に固定して構図を決めてから、ピントを合わせる位置を変えるときなどに使用します。

① “▸●◂” ワンプッシュ AFボタンを押しながら、“⊹” (ターゲットポイント)を “▲▼◀▶” でピントを合わせたい位置に移動します。

② “▶●◀” ワンプッシュ AFボタンから指をはなすと、ターゲットポイントを移動した位置にAFフレームが表示されます。

③ 通常どおり撮影します。

 メモ

- AFフレームを再度移動するときは、手順①からやり直してください。
- AFフレームの位置にかかわらず、露出合わせは常に画面中央付近で行われます。被写体に露出を合わせるときは、AF/AFロック(→38ページ)の使用をおすすめします。

画像の輪郭を強調／柔らかくする（Ⓢシャープネス）

使用可能撮影モード：P、S、A、M

輪郭をソフトにしたいときや、強調したいときに使用します。また、撮影画質を調節するときに使用します。

* 顔キレイナビがOFFのときの表示例です。

ハード(HARD)：
輪郭を強調します。建物、文字などを鮮明にしたい撮影に最適です。

スタンダード(STD)：
通常の撮影に最適なシャープネス処理をします。

ソフト(SOFT)：
輪郭をソフトにします。人物などソフトにしたい撮影に最適です。

フラッシュの発光量を変える (フラッシュ（光量補正）)

使用可能撮影モード：P、S、A、M

撮影目的や撮影条件に合わせてフラッシュの発光量のみを変えることができます。

チェック！

- 補正範囲
  −2/3EV〜+2/3EV（5段階：約1/3EVステップ）
- 用語解説「EV」（→183ページ）

注意

- 被写体条件および撮影距離などによっては、光量補正の効果が得られない場合があります。
- 1/1000秒より高速なシャッタースピードを設定したときは、暗く撮影されることがあります。

同じ画像を露出を変えて撮影する (ブラケティング)

使用可能撮影モード：P、S、A、M

同じ画像を露出を変えて撮影したいときに使用します。自動的に設定値きざみで適正、オーバー、アンダーの露出で3コマ連続して撮影します。

チェック！

- 設定値：3種類(±1/3EV、±2/3EV、±1EV)
- 用語解説「EV」（→183ページ）

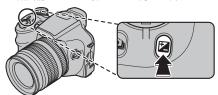
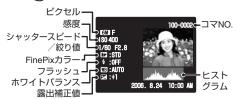
注意

- アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定値きざみで撮影されません。
- フラッシュは使用できません。
- 必ず3コマの画像が撮影されます。ただし、**xD-ピクチャーカード** や内蔵メモリーに3コマ分の空き容量がない場合は撮影できません。

メモ　オートブラケティング

ブラケティングの露出値を設定後、
①“ ”連写ボタンを押しながら、
②“▲▼”を押して“ ”オートブラケティングを選びます。

再生インフォメーション機能を使用する

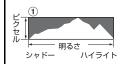
撮影時の情報を確認することができます。
“⊠”露出補正ボタンを押している間のみ確認できます。

注意

・高輝度警告

露出オーバーして、白トビした箇所を黒く点滅させて表示します。

・撮影モードによって FinePixカラーが表示されない場合があります。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ(横軸：明るさ／縦軸：ピクセルの数)に表したものです。

① 適正露出の場合：
全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。

② 露出オーバーの場合：
ハイライトのピクセルの数が多く、右に偏ります。

③ 露出アンダーの場合：
シャドーのピクセルの数が多く、左に偏ります。

注意

被写体によってグラフ形状は異なります。

F-モードメニュー（再生）／再生メニューを使う

撮影した画像を再生するときの機能です。

F-モードメニュー（再生）の設定方法

①カメラを再生モードにします（→43ページ）。

②“F”ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

③変更する項目を選びます。

④設定の変更に移ります。

⑤設定を変更します。

⑥“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

再生メニューの設定方法

①カメラを再生モードにします（→43ページ）。

②“MENU/OK”ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

③変更する項目を選びます。

④設定の変更に移ります。

⑤設定を変更します。

⑥“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

メニューの設定方法
（→96ページ）

連続して再生する（オートプレイ）

撮影した画像を順番に再生します。画像の切り換えかたなどを設定できます。

メモ

- 途中でやめる場合は“MENU/OK”ボタンを押してください。
- “ノーマル”、“フェード”のときは◀▶でコマ送りできます。
- オートプレイ中は自動電源OFF（→125ページ）しません。
- 動画は自動的に再生が始まり、再生が終わると自動的に次のコマに進みます。
- “DISP/BACK”ボタンを1回押すと、画面にガイダンスが表示されます。

“顔キレイナビ（顔検出機能）”

“ノーマル ”、“フェード ”のとき、顔キレイナビ（→36ページ）で撮影した画像は、検出した顔を拡大しながら再生します。

プリントする画像を指定する（プリント予約）

DPOF対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像や枚数、日付の有無を指定することができます。

日付あり設定：プリントしたときに日付が印字されます。

日付なし設定：プリントしたときに日付が印字されません。

全コマ解除：プリント予約したすべてのコマ（ファイル）の設定を解除します。

日付あり設定、日付なし設定

プリント予約を設定します。
“日付あり設定”のときは“”が表示され、日付を印字できます。

① プリント予約するコマ（ファイル）を選びます。

② プリント枚数を設定します。
- 最大99枚まで設定できます。
- プリントしないコマは0枚に設定してください。

続けて設定する場合は、①、②の操作を繰り返してください。

③ 設定が完了したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押してください。
“DISP/BACK”ボタンを押すとプリント予約されません。

④ 合計枚数が表示されますので、もう一度、"MENU/OK"ボタンを押します。

メモ　プリント予約を解除するには

① “*F*” ボタンを押して、*F*-モードメニューを表示し、▲▼で “プリント予約（DPOF）” を選びます。
② “▶” ボタンを押して、設定の変更に移ります。
③ ▲▼で “日付あり設定” か “日付なし設定” を選び、“MENU/OK” ボタンを押して予約設定画面を表示します。
④ ◀▶でプリント予約を解除したいコマ（ファイル）を選択します。
⑤ ▼でプリント枚数を0枚に設定します。

続けて解除するには④、⑤の操作を繰り返します。
設定が終了したら必ず “MENU/OK” ボタンを押してください。
・全コマ解除（→100ページ）

メモ

・他の機種でプリント予約してあるとき

他の機種でプリント予約されたコマ（ファイル）がある場合は “プリント予約リセット OK？” と表示されます。
“MENU/OK” ボタンを押すと、既にプリント予約された設定はすべて消去されます。そのため、新たにプリント予約をやり直す必要があります。

・同一 **xD-ピクチャーカード** 内で最大999コマの画像にプリント予約できます。
・動画とCCD-RAWはプリント予約できません。

注意

・設定中に “DISP/BACK” ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。既にプリント予約されていたときは修正のみキャンセルされます。
・プリンターの仕様によっては日付が入らないことがあります。
・本機以外で撮影した画像はプリント予約できない場合があります。

"顔キレイナビ(顔検出機能)"

顔キレイナビ(➝36ページ)で撮影した画像(画面に が表示されます)を設定する場合、顔キレイナビボタンを押すと、検出した顔に枠が表示され、その数がプリント枚数に設定されます。本機で検出した人数分の枚数が簡単に用意できます。
続けて▲▼を押すと、枚数を調整できます。もう一度、顔キレイナビボタンを押すと、顔の数に再設定されます。
設定が完了したら、必ずMENU/OKボタンを押します。

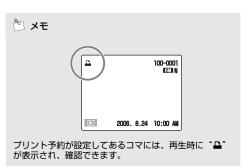
全コマ解除

プリント予約をすべて解除できます。

𝑭-モードメニューで"全コマ解除"を選び（➝98ページ)、設定画面を表示します。

"MENU/OK"ボタンを押すと、プリント予約がすべて解除されます。

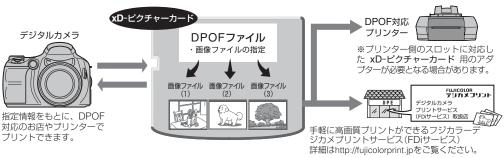
メモ

プリント予約が設定してあるコマには、再生時に" "が表示され、確認できます。

■ プリント予約（DPOF）について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

指定情報をもとに、DPOF対応のお店やプリンターでプリントできます。

※プリンター側のスロットに対応した **xD-ピクチャーカード** 用のアダプターが必要となる場合があります。

手軽に高画質プリントができるフジカラーデジカメプリントサービス(FDiサービス)
詳細はhttp://fujicolorprint.jpをご覧ください。

デジカメプリントのご注文について

DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** を、フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）取扱店にお持ちいただき、お店で「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。1回のDPOF指定でプリントできるサイズは1種類です。一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
また、DPOF指定をしなくてもフジカラーデジカメプリントサービスの取扱店でプリントしたいコマや、その枚数、日付の有無などの指定ができます（お店のプリント受付機をご利用いただくと画像を見ながら簡単にできます）。詳しくはお店にご確認ください。

※ 内蔵メモリーの画像にもプリント予約（DPOF）できます。ただし、PictBridge機能（→130ページ）を使用して、カメラとプリンターを直接つないでプリントするときにのみ利用できます。
※ 日付プリントをする場合には、撮影時にカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。
※「DPC-M1GB」など、「M」が付いている **xD-ピクチャーカード** （Type M）からお店プリントする場合は、Type M対応のプリント受付機をご利用ください。詳しくはお店にご確認ください。

再生メニュー

メニューの設定方法
（→96ページ）

画像を回転する（画像回転）

縦位置で撮った画像も画面では横向きに表示されます。
画像を回転すると正しい向きで見ることができます。

注意

プロテクトされたコマ（ファイル）は回転できません。
プロテクトを解除してから回転させてください。（→103ページ）。

メモ

本機で再生した場合のみ回転表示されます。
また、本機以外のカメラで撮影した静止画は回転できない場合があります。

①画像を回転するコマ（ファイル）を選びます。

②“MENU/OK”ボタンを押して再生メニューを表示します。

③“画像回転”を選びます。

④“MENU/OK”ボタンを押します。

⑤回転させます。
▼：時計回りに90°回転
▲：反時計回りに90°回転

⑥“MENU/OK”ボタンを押して決定します。
次の再生時には自動的に回転表示されます。
回転を取り消す場合は“DISP/BACK”ボタンを押します。

“顔キレイナビ（顔検出機能）”
顔キレイナビを使用して、縦位置で撮影した人物の画像は、顔キレイナビボタンを押すと、正しい向きで表示されます。

画像を保護する（プロテクト）

画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

設定／解除

選んだコマ（ファイル）をプロテクトしたり、プロテクトを解除したりします。

プロテクトされていない場合

プロテクトされている場合（“ ”表示）

① 設定/解除するコマ（ファイル）を選びます。

② “MENU/OK”ボタンを押すと設定/解除されます。
プロテクトされていない場合：
プロテクト設定
プロテクトされている場合：
解除

続けて設定するには①、②の操作を繰り返します。
終了する場合は“DISP/BACK”ボタンを押してください。

全コマ設定

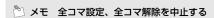
全コマ設定 OK?
処理に時間がかかる
場合があります
OK 実行　BACK やめる

“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）をプロテクトします。

全コマ解除

全コマ解除 OK?
処理に時間がかかる
場合があります
OK 実行　BACK やめる

“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

メモ　全コマ設定、全コマ解除を中止する

撮影した画像が大量にあると、全コマ設定、全コマ解除に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は“DISP/BACK”ボタンを押してください。

注意

フォーマット（→125ページ）をすると、プロテクトしてあるコマ（ファイル）も消去されてしまいます。

画像をコピーする（COPY画像コピー）

本機の内蔵メモリーに保存された画像を **xD-ピクチャーカード** へコピーできます。
また **xD-ピクチャーカード** に保存された画像をカメラの内蔵メモリーへコピーすることもできます。

■ コピーの方法を決める

① "INカメラ➔カード" か "カード➔INカメラ" を選びます。

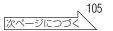
② 設定の変更に移ります。

1コマコピーする（1コマ）

① "1コマ" を選びます。

② "MENU/OK" ボタンを押して、確認画面を表示します。

もっと使いこなそう（再生編）

次ページにつづく

③コピーするコマ（ファイル）を選びます。

④"MENU/OK" ボタンを押すと、表示中のコマ（ファイル）をコピーします。

メモ

続けてコピーするには③、④の操作を繰り返します。
コピーを終えるには "DISP/BACK" ボタンを押します。

すべてのコマをコピーする（全コマ）

①"全コマ" を選びます。

②"MENU/OK" ボタンを押して、確認画面を表示します。

③“MENU/OK”ボタンを押すと、すべてのコマ（ファイル）をコピーします。

注意

- “空き容量がありません”、“空き容量がありません”と表示された場合、途中までしかコピーされません。
- プリント予約していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

画像に音声を入れる（ボイスメモ）

撮影した画像に、最長30秒間の音声を入れることができます。
撮影時の状況などを録音すると思い出がより深いものとなるでしょう。

ボイスメモを付ける

①ボイスメモを付ける画像を選びます。

②“MENU/OK”ボタンを押して再生メニュー画面を表示します。

③“ボイスメモ”を選びます。

④録音画面を表示します。

もっと使いこなそう（再生編）

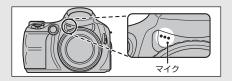
次ページにつづく

⑤“MENU/OK”ボタンを押すと録音が開始されます。

録音中は画面に残り時間がカウントダウン（秒読み）表示されます。

メモ

マイクに向かって録音してください。

約20cm離れるとうまく録音できます。

⑥途中で“MENU/OK”ボタンを押すか、30秒経過すると録音が終了します。

記録する場合：“MENU/OK”ボタンを押します。
再録音する場合：“DISP/BACK”ボタンを押します。

メモ

・すでにボイスメモがあるときは

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうかの選択画面が表示されます。

・“プロテクトされています”が表示された場合はプロテクトを解除してください（➞103ページ）。
・動画にはボイスメモを付けられません。

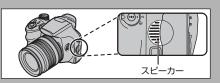
ボイスメモを再生する

①ボイスメモ付き画像ファイルを選びます（“🎤”が画面に表示されます）。

②再生が開始されます。

画面に残り時間と進行状況を示すバーが表示されます。

注意

スピーカーをふさがないでください。
音が聞き取りにくくなります。

■ ボイスメモ再生操作方法

	操作	説明
再生	▼	再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に◀▶を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

チェック！

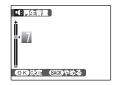
- ボイスメモ録音形式
  WAVE（→183ページ）、PCM記録形式
- 音声ファイルサイズ
  約480KB（30秒録音時）

メモ　ボイスメモファイルの再生について

本機以外で記録したボイスメモファイルは再生できない場合があります。

もっと使いこなそう（再生編）

再生音量を調節する

ボイスメモ再生中に音量調節ができます。

① ボイスメモ再生中に“MENU/OK”ボタンを押します。
ボイスメモ再生は自動的に一時停止します。

② 音量を調節します。

③ “MENU/OK”ボタンを押して設定します。
自動的にボイスメモ再生に戻ります。

画像を切り抜く（トリミング）

撮影した画像の必要な部分を切り抜くことができます。

❶ メニューを設定する

① トリミングするコマ（ファイル）を選びます。

② “MENU/OK”ボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。

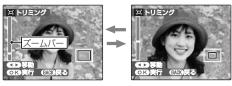
③ “トリミング”を選びます。

④ 設定画面を表示します。

❷切り抜く部分を選ぶ

▼**ボタン**（縮小）　▲**ボタン**（拡大）

①拡大、縮小します。

メモ

トリミングを解除するには、“DISP/BACK”ボタンを押します。

②表示を切り換えます。

③切り抜きたい部分に移動します。

メモ

ズーム画面に戻るには、“DISP/BACK”ボタンを押します。

④“MENU/OK”ボタンを押します。

❸記録する

トリミング後の記録画素数を確認して“MENU/OK”ボタンを押します。
トリミングした画像は別ファイルで最後のコマに追加されます。

メモ

- 手順❷でズーム時に拡大したサイズによって、記録画素数が変わります。最小の0.3Mになる場合は“OK 実行”の文字が黄色になります。

- 記録画素数と用途について

3M	DSCW、2L、HV、A5サイズ程度でのプリント
2M	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でのプリント
03M	電子メールへの画像添付やホームページでの使用

- “ピクセル”の設定が“3:2”で記録された画像は、通常のサイズ（4：3）でトリミングされます。
- プリントサイズについては84ページをご参照ください。

注意

本機以外のカメラで撮影した静止画はトリミングできない場合があります。

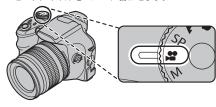
“顔キレイナビ（顔検出機能）”

顔キレイナビ(→36ページ)で撮影した画像(画面に が表示されます)は、 顔キレイナビボタンを押すと、ピントを合わせた顔を拡大表示し、主被写体を簡単に切り抜くことができます。
ご希望の箇所を自由に切り抜きたいときは、通常のトリミングの手順で調整できます。

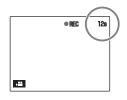
動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

❶ 動画モードに設定する

モードダイヤルを“ ”に合わせます。

画面に撮影可能時間が表示されます。

❷ 動画を撮影する

全押し

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。
撮影中は画面に“●REC”と、残り時間のカウントダウン（秒読み）が表示されます。

半押し

撮影中にシャッターボタンを半押しするか、残り時間がなくなると撮影を終了します。

メモ

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

■ ズームについて

動画撮影中もズームリングでズームすることができます。ズームした後は、ピントを合わせ直します。

拡大、縮小します。

チェック！

- 光学ズーム焦点距離
  約28mm〜約300mm相当（35mmフィルム換算）
  最大ズーム倍率　10.7倍
- 撮影可能距離
  広角側：約40cm〜無限遠(∞)
  望遠側：約2m〜無限遠(∞)

チェック！　撮影できる動画について

- 撮影形式：
  Motion JPEG形式（→183ページ）
  モノラル音声付き
- 動画サイズ：
  640（640×480ピクセル）
  320（320×240ピクセル）
- フレームレート（→184ページ）：
  30フレーム/秒（固定）

メモ

- 撮影前の画面表示と動画記録中の画面表示は明るさや色などが異なる場合があります。
- シャッターボタンを全押ししたときに、ピントは固定されますが、露出、ホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。
- 撮影開始後すぐに終了しても約1秒間だけ **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーへ記録されます。

注意

- 動画は **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーに記録しながら撮影するため、突然電源が切れる（電池切れ、ACパワーアダプターの接続が外れる）と正常に保存処理できません。
- 本機で撮影した動画ファイルは、本機以外では再生できない場合があります。
- SET セットアップメニューの fps EVF/LCD表示の設定はできません（→119ページ）。
- 音声が同時に記録されるので、指などでマイク（→18ページ）をふさがないようご注意ください。
- 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。

動画サイズを変更する

動画モード時に“*F*”ボタンを押して*F*-モードメニューを表示します。

①設定の変更に移ります。

②設定を変更します。

③“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

■ 動画サイズの設定

640（640×480ピクセル）：画質重視
320（320×240ピクセル）：記録時間重視

メモ

- ピクセルは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。
- 動画撮影モードでは“ISO感度”、“FinePixカラー”の設定ができません。
- 標準撮影時間については182ページをご参照ください。

注意

「DPC-M1GB」など、「M」が付いている **xD-ピクチャーカード** を使って撮影したとき、画像ファイルの記録と消去を繰り返すと動画記録時間がまれに短くなることがあります。
このような場合には全コマ消去またはフォーマットしてからお使いください。そのとき、消去したくない重要なコマ（ファイル）はパソコンなどにコピーしてください。

▶動画を再生する

▶再生モードにする
（→43ページ）

①動画ファイルを選びます。
（“🎥”が表示されます。）

②再生が開始されます。

画面に再生時間と進行状況を示すバーが表示されます。

■ 動画再生操作方法

	操作	説明
再生	▼	再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 停止中に◀▶を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻戻しします。
コマ送り	◀▶	一時停止中に◀または▶を押すたびに1コマずつ送られます。押し続けると速く送られます。

メモ

高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦スジや黒い横スジが入ることがありますが故障ではありません。

注意

・本機以外で撮影したファイルは再生できない場合があります。
・パソコンで再生する場合、xD-ピクチャーカード、内蔵メモリー内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。
・スピーカーをふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

再生音量を調節する

動画再生中に音量調節ができます。

① 動画再生中に“MENU/OK”ボタンを押します。
動画は自動的に一時停止します。

② 音量を調節します。

③“MENU/OK”ボタンを押して設定します。
自動的に動画再生に戻ります。

カメラの設定を変える—SET セットアップ

セットアップメニューの操作

❶ セットアップメニューを表示する

① “MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。

② “SET セットアップ”を選びます。

③ セットアップ画面を表示します。

❷ ページを切り換える

① ページを選びます。

② 項目の選択に移ります。

❸ 設定を変更する

① 変更する項目を選びます。

② 設定の変更に移ります。
一部の項目では専用の設定画面に切り換わります。

③ 設定を変更します。

④ “MENU/OK”ボタンを押して決定します。

セットアップメニュー一覧

	項目	設定（表示）	工場出荷時	内容	ページ
📷	撮影画像表示	連続/3秒/1.5秒/画像拡大チェック	1.5秒	撮影後の画像確認画面（撮影結果）の表示方法を設定できます。撮影画像と実際の色味が異なる場合がありますので、再生してご確認ください。	121
	コマNO.	連番/新規	連番	コマNO.の付けかたを設定します。	122
	AF補助光	ON/OFF	ON	AF補助光を使用するかどうか設定できます。	40
	RAW CCD-RAW	ON/OFF	OFF	画質をCCD-RAWに設定します。カメラで画像処理を行わないため、パソコンで画像処理を行う必要があります。	123
	EVF/LCD表示	30fps/60fps	30fps	画面表示をなめらかにします。	—
	P in P	ON/OFF	ON	マニュアルフォーカスでフォーカスリングを回したときに画面中央部を拡大表示して、ピントを合わせやすくします。	123
🔧1	日時設定	—	—	日付、時刻を修正できます。	31
	ビープ音量	🔊/🔉/🔈/OFF	🔉	ボタンなどを操作したときの音量を設定できます。	—
	シャッター音	🔊/🔉/🔈/OFF	🔉	シャッターを切るときの音量を設定できます。	—
	再生音量	—	7	動画再生、ボイスメモ再生時の音量設定ができます。	124
	モニター明るさ	—	0	画面の明るさを設定できます。	124
	フォーマット	—	—	**xD-ピクチャーカード**、または内蔵メモリーを初期化します。すべてのファイルが消去されます。	125

次ページにつづく

	項目	設定（表示）	工場出荷時	内容	ページ
2	言語/LANG.	日本語/ENGLISH	日本語	画面に表示する言語を設定できます。	—
	自動電源OFF	5分/2分/OFF	2分	何も操作していないときに、自動的に電源が切れる時間を設定できます。	125
	世界時計	⌂/✈	⌂	時差の設定ができます。	126
	配色設定	—	—	メニューやカーソルの色を設定できます。	—
	充電池放電	—	—	ニッケル水素電池を放電します。	164
	ビデオ出力	NTSC/PAL	NTSC	ビデオ出力をNTSCにするかPALにするかを選択します。日本国内で使用する場合はNTSCを選択してください。	—
3	リセット	—	—	日時設定、世界時計、配色設定、ビデオ出力以外のすべての設定を工場出荷時設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、リセットするには“◀▶”で“実行”を選び、“MENU/OK”ボタンを押します。	—

撮影画像表示

撮影後の撮影結果の表示方法を設定できます。
連続：自動的に記録されたあとに、撮影結果が表示されます。
次の撮影をするには、“MENU/OK”ボタンを押します。
3秒、1.5秒：撮影結果が約3秒間、または約1.5秒間表示され、自動的に記録されます。
画像拡大チェック：撮影結果が拡大表示され、詳細を確認できます。

注意

- “3秒”、“1.5秒”のときに表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なる場合があります。
- エンドレス連写（→77ページ）に設定しているときは、撮影画像表示は使用できません。

■ 拡大（画像を拡大してチェックする）

ナビゲーション画面（現在の表示位置）

①大きさを変えます。

②表示を切り換えます。

③見える範囲を移動できます。

④次の撮影をするには“MENU/OK”ボタンを押します。
画像は自動的に記録されます。

メモ

- ピクセル設定が“03M”のときは、拡大されません。
- “DISP/BACK”ボタンを押すとズームは解除されます。
- 連写設定している場合は、本機能は使用できません。
- 撮影モードが“Ⓝ⚡”のときは、本機能は使用できません。

“顔キレイナビ（顔検出機能）”

顔キレイナビ(→36ページ)で撮影した画像は、顔キレイナビボタンを押すたびに表示される顔が切り換わり、確認できます。
▲か▼を押すと、大きさを変えられます。◀か▶を押すと、移動画面となり、▲▼◀▶で見える範囲を移動できます。

コマNO.

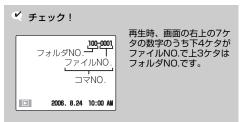
コマNO.の付けかたを設定します。

連番：最後に使用した **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーの最終ファイルNO.から続けて記録します。

新規：**xD-ピクチャーカード** ごとにファイルNO.は0001から記録が開始されます。

チェック！

再生時、画面の右上の7ケタの数字のうち下4ケタがファイルNO.で上3ケタはフォルダNO.です。

メモ

- “連番”はパソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。
- “リセット”（→120ページ）を実行した場合、コマNO.の設定は“連番”になりますが、コマNO.自体は“0001”に戻りません。
- “連番”で **xD-ピクチャーカード** を交換したとき、最後に記憶したファイルNO.よりも大きいファイルNO.の画像があった場合、大きいファイルNO.に続けられます。
- ファイルNO.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダNO.が1つ繰り上がります。最大で999-9999までカウントされます。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なる場合があります。

CCD-RAW

RAW CCD-RAWを“ON”に設定すると、カメラでは信号処理(CCDから読み出されたデータを画像として再構成する作業)を行わないため、パソコンで画像を再構成する必要があります。
付属のFinePixViewerを使ってパソコンで処理してください。FinePixViewerのCCD-RAWファイル変換機能を使って変換することにより、簡単に画像ファイルを作ることができます。(変換できるファイル形式はご使用のOSにより異なります。くわしくは FinePixViewer のオンラインヘルプをご覧ください。)

注意

- CCD-RAWを設定しているときは以下の機能を使用できません。
  撮影時：デジタルズーム、連写、ピクセル設定、アシストウインドウ表示
  再生時：再生ズームは最大2.5倍までになり、トリミング保存できません。
- 内蔵メモリーを使用しているときは、CCD-RAW撮影はできません。

チェック！

画像を再構成するには、パソコンにFinePixViewer（同梱のCD-ROM）がインストールされている必要があります。

P in P（フォーカス確認機能）

ピントを確認しにくいときに設定します。

P in Pを“ON”に設定して、フォーカスリングを回すと、画面中央部が拡大表示され、そのままピントを合わせることができます。撮影が完了すると、通常表示に戻ります。

注意

- P in Pは、マニュアルフォーカス(→70ページ)に設定しているときのみ、使用できます。
- P in Pは、“ ”クイックショット(→90ページ)が設定されているときや、“SET”セットアップメニューの“fps”EVF/LCD表示(→119ページ)が“60fps”に設定されているときは使用できません。

カメラの設定を変える

再生音量

動画再生、ボイスメモ再生時の音量を調節します。

① 音量を調節します。
数字が大きくなるほど音量が大きくなり、0のときは消音になります。

② “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

モニター明るさ

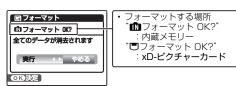
画面表示の明るさを調節します。

① 明るさを調節します。
＋側にすると明るくなり、－側にすると暗くなります。

② “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

フォーマット

xD-ピクチャーカード、内蔵メモリーをカメラ用に初期化（フォーマット）します。

・フォーマットする場所
"IN フォーマット OK?"
：内蔵メモリー
"フォーマット OK?"
：xD-ピクチャーカード

① "実行" を選びます。

② "MENU/OK" ボタンを押すと、**xD-ピクチャーカード**、または内蔵メモリーが初期化されます。

注意

・フォーマット時に、プロテクトされているものを含むすべてのコマ（ファイル）が消去されます。
消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。
・フォーマット時は、電池カバーやスロットカバーを開けないでください。フォーマットが中断されます。

自動電源OFF（オートパワーオフ）

設定した時間（2分間または5分間）操作しないと自動的に電源が切れます。電池を長持ちさせたいときに使用します。

注意

オートプレイ（→97ページ）、充電池放電（→164ページ）、プリンターやパソコンとの接続（→130、149ページ）時は自動電源OFFしません。

メモ　再び電源を入れるには

「電源を入れる／切る（→28ページ）」をご参照ください。

世界時計

旅行先で時差がある場合に、時差の設定ができます。撮影時間が設定した時間で記録されます。

❶ 時差設定を有効にする。

“ホーム”と“現地”を切り換えます。時差を設定するときは“現地”にします。
ホーム：お住まいの地域
現地：旅行先

❷ 時差設定に移る。

時差設定画面に移ります。

❸ 時差を設定する。

① 変更する項目（+かー、時、分）を選びます。

② 設定を変更します。

③ 設定が終了したら、“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

チェック！

設定可能時間
–23:45～+23:45（15分単位）

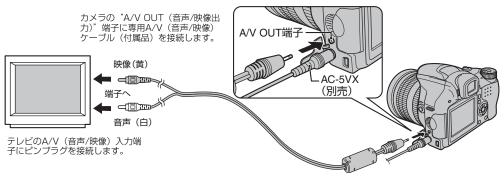
メモ

世界時計を設定すると、撮影モードにしたとき画面に、“✈”と日付が3秒間表示されます。そのとき日付表示は黄色に変わります。

チェック！

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず“⌂ホーム”に設定し直して、日時を再確認してください。

テレビに接続する

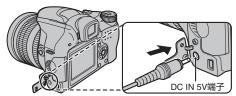
テレビに接続すると大画面で写真を見ることができます。「オートプレイ（→97ページ）」を使用すると、パーティーなどで楽しめます。

注意

- 専用A/V（音声/映像）ケーブル、ACパワーアダプターは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ACパワーアダプターについてのご注意は、163ページをご参照ください。

メモ

- 専用A/V（音声/映像）ケーブルをテレビに接続するとカメラの画面表示が消えます。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質は低下します。
- テレビに接続すると、“🔊”再生音量の設定をしても音量は変更されません。テレビの音声/映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。
- 長時間、テレビに接続する場合はACパワーアダプター AC-5VX（別売）のご使用をおすすめします。

ACパワーアダプター（別売）を使用する

弊社製「ACパワーアダプター AC-5VX」（別売）をご使用になることをおすすめします。
パソコンへ撮影した画像を転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず、撮影や再生をすることができます。

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグをカメラの“DC IN 5V”端子に奥まで差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

注意

- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、必ずカメラの電源が切れているときに行ってください。
  カメラの電源が入っているときに接続や取り外しを行うと、カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像や動画は保存されません。また、**xD-ピクチャーカード** や内蔵メモリーの破損、およびパソコン接続時の誤動作の原因になります。
- 弊社専用品以外をご使用になった場合の不具合は保証いたしかねます。
- ACパワーアダプターを接続しても、単3形ニッケル水素電池の充電はできません。単3形ニッケル水素電池の充電には別売の充電器（→157ページ）が必要です。

 メモ

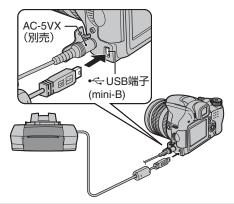
ACパワーアダプターについてのご注意は、163ページをご参照ください。

プリンターに接続してプリントする—PictBridge機能

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。

プリンターに接続する

❶ 付属のUSBケーブル（mini-B）でカメラとプリンターを接続します。

 メモ

プリンターに接続する場合はACパワーアダプター AC-5VX（別売）のご使用をおすすめします。

❷ 接続したら、プリンターの電源を入れ、そのあと電源レバーを“▶”に合わせてカメラの電源を入れます。

電源を入れると接続確認の画面が表示されます。

❸ しばらくすると次の画面が表示されます。

コマを指定してプリントする
→131ページへ
プリント予約(DPOF)した画像をプリントする
→132ページへ

 メモ

プリンターによっては使えない機能があります。

コマを指定してプリントする（日付ありプリント、日付なしプリント）

① プリントするコマ（ファイル）を選びます。

② プリント枚数を設定します。
最大99枚まで設定できます。

続けて設定するには①、②の操作を繰り返します。

③ “MENU/OK”ボタンを押して、確認画面を表示します。

④ もう一度“MENU/OK”ボタンを押すとデータが転送され、指定された枚数がプリントされます。

 メモ

合計（トータル）枚数が0枚のときに“MENU/OK”ボタンを押すと、表示画面を1枚プリントする確認画面が表示されます。もう一度、“MENU/OK”ボタンを押すと、プリントされます。

メモ　日付を入れてプリントする

① “DISP/BACK”ボタンを押して設定画面を表示します。
② “日付ありプリント”を選びます。
③ “MENU/OK”ボタンを押して決定します。

注意

日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、“日付ありプリント”が選べません。

プリント予約(DPOF)設定でプリントする(予約プリント)

① “DISP/BACK”ボタンを押して、メニューを表示します。

② “予約プリント”を選びます。

③ “MENU/OK”ボタンを押して、確認画面を表示します。

予約プリントします
トータル:19枚
OK 開始　BACK やめる

④もう一度“MENU/OK”ボタンを押すとデータが転送され、プリント予約したコマが連続してプリントされます。

チェック！

“予約プリント”をする場合は、あらかじめ98ページを参照してプリント予約をしてください。

注意

プリント予約（→98ページ）で“日付あり設定”にしても、日付プリントに対応していないプリンターの場合、日付が印字されません。

メモ

プリント中に“DISP/BACK”ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。
動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

プリンターと接続を切るには

①カメラの画面に“プリント中”と表示されていないことを確認します。
②カメラの電源を切り、USBケーブル（mini-B）を取り外します。

メモ

内蔵メモリーの画像にもプリント予約（DPOF）できます。

注意

- PictBridge機能は、カメラで撮影した画像以外ではプリントできない場合があります。
- 本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
- カメラにACパワーアダプター AC-5VX（別売）を接続することをおすすめします。
- 内蔵メモリー、または本機でフォーマットした **xD-ピクチャーカード** をご使用ください。
- 動画とCCD-RAWはプリントできません。
- 本機以外で撮影した画像はプリントできない場合があります。

パソコンと接続する

パソコンと接続することで、画像データを保存したり、専用ソフト“FinePixViewer”を使って閲覧や管理など様々なことができます。

パソコンと接続する前に

カメラをパソコンに初めて接続する際は、接続前に、必ず付属のCD-ROMを使ってすべてのソフトウェアをパソコンにインストールしてください。
インストール前にカメラをパソコンに接続すると、正常に接続できなくなる場合があります。

チェック

■ CD-ROMのバージョンについて

CD-ROMのバージョンはCD-ROMの盤面に下記のように書かれています。
「○○ Version □.□ x」　例) CX Version 5.3a

○○ ：大文字アルファベット二文字
□.□：数字
x：小文字アルファベット

注意

- 本機はPTP対応カメラです。
  PTP対応カメラとはパソコンやプリンターを自動認識し、簡単に接続できるカメラです。
- ACパワーアダプター AC-5VX（別売）を使った接続をおすすめします。通信中に電源が切れると **xD-ピクチャーカード** または内蔵メモリー内のファイルを破壊する可能性があります。
- 通信中はUSBケーブル（mini-B）を取り外さないでください。通信中に接続が切れると、**xD-ピクチャーカード** または内蔵メモリー内のファイルを破壊する可能性があります。
- Mac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です。
- USBケーブル（mini-B）は向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは必ず所定の手順で行ってください（→152ページ）。
- カメラとパソコンが通信中のときは、インジケーターランプが緑／橙に交互点滅します。
- パソコンとの接続時は自動電源OFFしません。
- **xD-ピクチャーカード** の交換は、必ず152ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
- パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- ボイスメモの付いた画像は必ずFinePixViewerを使ってパソコンに転送してください。
- RAW CCD-RAW(→123ページ)を設定して撮影した画像は、必ずFinePixViewerを使ってパソコンに転送してください。

FinePixViewerでできること

FinePixViewerは、デジタルカメラで記録した静止画/動画/音声ファイルをパソコンに保存し、整理、加工、印刷などを行うためのソフトウェアです。ここでは簡単にその機能をご紹介します。

■ カメラのデータをパソコンに保存する－カメラをパソコンに接続すると自動的にFinePixViewerが起動して、簡単な操作でパソコンにデータを保存できます。接続方法は149ページをご覧ください。

■ ファイル／フォルダを閲覧・整理する－静止画／動画／音声などの各ファイルおよびフォルダを、サムネイル表示でわかりやすく確認できます。ファイルは名前の変更、移動やコピーなどができます。フォルダは新規に作成したり名前の変更、移動やコピーなどができます。

■ 画像ファイルを加工する－画像の切り抜き、文字入れ、セピア／白黒画像への変換、自動画質調整、赤目修正、画像サイズの変更、回転など、画像処理機能を利用できます。

■ 動画を加工する（Windowsのみ）－不要な部分の削除、セピア／白黒画像への変換、自動画質調整、サイズの変換、縦横回転などが行えます。

■ 一括で処理を行う－画像の回転／画像のサイズ変更／ファイル名の変更／保存形式の変換といった処理を、複数のファイルに対して一括で行えます。

■ スライドショーを行う－ BGMを付けて撮影日などを字幕のように表示しながらスライドショーを再生できます。

■ 画像を印刷する－プリントウィザードを使って印刷する画像を選択したり、レイアウトのプレビューを見ながら、画像の印刷が簡単に行えます。また動画から連続写真を作成し、印刷することができます。連続写真は複数の静止画像ファイルとして一括して保存することもできます。

■ Eメールに画像を添付する－メール送信に適した画像サイズに変換してEメールへ画像を添付できます。

■ 他にも充実した機能がいろいろ－ FinePix CDアルバムの作成、動画編集などのほか、CCD-RAWファイルに対応したカメラのデータを現像したり、またインターネット接続環境では、ネットプリント注文を行ったり（Windowsのみ）、サポート情報の取得など、たいへん便利な画像ネットサービスPictureTheFutureを利用できます（一部有料）。

注意　インターネットを利用する際のご注意

インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

Windowsにインストールする

この章では、Windowsパソコンでのインストール方法・設定を説明しています。

❶ インストール前にお確かめください

■ 動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うか、インストールを始める前にお確かめください。

項目	条件
OS*[1]	Windows 98 SE 日本語版 Windows Millennium Edition（Windows Me）日本語版 Windows 2000 Professional 日本語版*[2]*[3] Windows XP Home Edition 日本語版*[2] Windows XP Professional 日本語版*[2]
CPU*[4]	Pentium 200MHz以上 （Windows XPの場合は、PentiumⅢ 800MHz以上）
メモリ	64MB以上（Windows XPの場合は128MB以上） （CCD-RAWファイル変換機能使用時 ...... 768MB以上）
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量 ...... 450MB以上 動作に必要な容量 ...... 600MB以上 （ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 ...... 2GB以上） （CCD-RAWファイル変換機能使用時 ...... 2GB以上） （OSの仮想メモリ・ページングファイルに設定必要）
ディスプレイ	800×600ドット以上、16ビットカラー以上 （ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 ...... 1024×768ドット以上）
インターネット接続*[5]	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 　インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度　56kbps以上推奨
外部接続端子	本体標準のUSBポート

*[1] 上記のOSがプリインストールされたモデル。
*[2] インストールするときには、コンピュータの管理者アカウント（例えば、“Administrator”）でログインしてください。
*[3] CCD-RAWファイル変換機能を使用する場合、Service Pack4が必要です。

*4 パソコンで動画を再生する場合はパソコンの性能によっては滑らかに再生されない場合があります。動画をパソコン上で再生する場合のご注意は「トラブルシューティング（Windows編）」（➞154ページ）をご覧ください。
*5 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

■ 推奨環境

OS	Windows XP
CPU	Pentium4 2GHz以上
メモリ	512MB以上
ハードディスク空き容量	2GB以上
ディスプレイ	1024×768ドット以上　フルカラー
インターネット接続	通信速度　ブロードバンド（ADSL、FTTH、CATVなど）

注意

- パソコンとカメラは、USBケーブル（mini-B）で直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンにUSBポートが2つ以上ある場合は、どのポートに接続してもかまいません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。
- Windows 95、Windows 98、Windows NTでは使用できません。
- 自作パソコンや、OSをアップデートしたパソコンは、動作保証外です。
- FinePixViewerを再インストールまたは削除すると、画像ネットサービスのユーザー ID・パスワード・インターネットメニューがパソコンから消去されます。「今すぐ登録」ボタンをクリックして、登録済みのユーザー ID・パスワードを入力して、メニューを再ダウンロードしてください。

❷ CD-ROMをパソコンにセットする

① パソコンの電源を入れて、Windowsを起動します。既に電源を入れて作業をしていた場合は、再起動してください。

注意

- ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラを接続しないでください。
- Windows 2000 ProfessionalまたはWindows XPをお使いの場合は、コンピュータの管理者アカウント（例えば、"Administrator"）でログオンしてください。

② タスクバー上からアプリケーションの表示がなくなるまで、他のアプリケーションを終了させてください。

<タスクバー>

終了すべきアプリケーション(表示は実行されているアプリケーションによって異なります)

i. タスクバー上のアプリケーションの表示の上でマウスの右ボタンをクリックします。
ii. 開いたメニューの「閉じる」をクリックします。詳しくは、パソコンの使用説明書、アプリケーションの使用説明書をご参照ください。

③ 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、インストーラーが自動的に起動します。

メモ　インストーラーを手動で起動するには

①「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして開きます。
Windows XPをお使いの場合は、「スタート」メニュー→「マイコンピュータ」をクリックします。

②「マイコンピュータ」ウィンドウの「FINEPIX」のCD-ROMアイコン上で右クリックして「開く」を選択します。

③ CD-ROMの中の「SETUP」または「SETUP.exe」をダブルクリックします。

❸ FinePixViewerをインストールする

① セットアップ画面が表示されます。
「FinePixViewerのインストール」をクリックしてください。

メモ

インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

② インストール前のチェックが開始されます。「注意」画面が表示された場合は、その指示に従ってください。

メモ

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示された場合は、カメラが接続されています。「キャンセル」ボタンをクリックして、カメラを取り外してください。

次ページにつづく

③ インストールの続行を確認する画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

④「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されます。内容をよくお読みの上、
同意される場合　→「同意します」ボタン
同意しない場合　→「同意しません」ボタン
をクリックしてください。
「同意しません」ボタンをクリックすると、インストールされません。

⑤ ソフトウェアのバージョンチェックが行われます。下の画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、以前のバージョンのソフトウェアをアンインストールしてください。

⑥「国/地域の選択」画面が表示されます。お住まいの地域を選択して、「OK」ボタンをクリックしてください。

⑦ USBドライバをインストールします。

⑧ FinePixViewerをインストールします。

i. 下の画面が表示される場合があります。設定を引き継ぐときは「はい」ボタンをクリックしてください。

ii. FinePixViewerのインストールが始まり、注意・警告画面が表示されます。確認したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。
iii. インストール先のフォルダを確認して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

⑨ 画面の指示に従って、ImageMixer VCD2 LE for FinePixをインストールします。

i. 「使用許諾契約」画面では、「はい」をクリックします。

ii. 「Readme」画面では、右上にある×をクリックして閉じます。

⑩ 画面の指示に従って、Windows Media Playerをインストールし、再起動します。

i. この画面では、「プライバシについての説明を読み終わりました」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

ii. 「完了」ボタンをクリックすると、パソコンが再起動します。

既に最新版がインストールされている場合は、このインストールは行われません。次の手順へ進んでください。

次ページにつづく

⑪ 画面の指示に従って、DirectXをインストールし、再起動します。

> **注意**
>
> 既に最新のバージョンがインストールされている場合、この画面は表示されません。

⑫ 再起動後、「FinePixViewerのインストールが完了しました」という画面が表示されます。

⑬「今すぐ起動」ボタンをクリックしてFinePixViewerを起動します。

⑭ インターネットに接続できる環境でお使いの方は「今すぐ登録」ボタンをクリックしてユーザー登録することをおすすめします。

> これでインストールはすべて終了しました。
>
> 続いて、149ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。
> CD-ROMは再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

Mac OS Xにインストールする

この章では、Mac OS Xでのインストール方法・設定を説明しています。

❶インストール前にお確かめください

■ 動作環境

本ソフトウェアをお使いいただくには、以下の条件が揃っていることが必要です。
お使いのパソコン、ご使用環境が動作条件に合うか、インストールを始める前にお確かめください。

対応機種*[1]	Power Mac G3*[2]、PowerBook G3*[2]、 Power Mac G4、iMac、iBook、 Power Mac G4 Cube、PowerBook G4、 Power Mac G5 MacBook、MacBook Pro、Mac mini
OS	Mac OS X*[3]（バージョン10.3.9～10.4.6対応　2006年5月現在*[4]）
メモリ	192MB以上 (CCD-RAWファイル変換機能使用時......768MB以上)
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量 ...... 200MB以上 動作に必要な容量 ...... 400MB以上 (ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 ...... 2GB以上) (CCD-RAWファイル変換機能使用時......2GB以上 (システムディスク上に必要)
ディスプレイ	800×600ドット以上、約32,000色以上 (ImageMixer VCD2 LE for FinePix使用時 ...... 1024×768ドット以上)
インターネット接続*[5]	●画像ネットサービス、メール添付機能使用時 インターネットに接続し、メールの送受信ができる環境 ●通信速度 56kbps以上推奨

*[1] Power PC、Intel Processor搭載機
*[2] USBポートが標準装備されている機種
*[3] インストールするときには、コンピュータの管理者アカウントでログインしてください。
*[4] 対応OSについては下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/
*[5] 画像ネットサービスの使用時に必要です。インターネット接続できない場合でも、ソフトウェアのインストールは可能です。

注意

- Macintoshとカメラは、USBケーブル（mini-B）で直接、接続してください。延長ケーブルを接続したり、USBハブを経由すると、正常に動作しない場合があります。
- USBコネクターは奥まで差し込んで、確実に接続してください。正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- 増設USBインターフェースボードを使用した場合の動作保証はいたしません。

❷ FinePixViewerをインストールする

① Macintoshの電源を入れて、Mac OS Xを起動します。他のアプリケーションは起動しないでください。

② 同梱のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると「FinePix」アイコンが表示されます。「FinePix」アイコンをダブルクリックすると、「FinePix」ボリュームが開きます。

③「Installer for MacOSX」をダブルクリックして起動します。

④ インストーラーのセットアップ画面が表示されます。「FinePixViewerのインストール」をクリックしてください。

メモ

インストール内容について詳しく知りたいときは、「はじめにお読みください」をクリックします。

⑤「認証」画面が表示されます。管理者のアカウントの名前とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

注意

管理者のアカウントはMac OS Xをインストールしたアカウント、もしくはシステム環境設定のアカウントを開いたとき、タイプが管理者となっているアカウントです。

⑥「ライセンス」画面が表示されます。
内容をよくお読みの上、同意される場合は「同意」ボタンをクリックしてください。
「同意しない」ボタンをクリックするとインストールはされません。

⑦「お読みください」画面が表示されます。
「続ける」ボタンをクリックします。

⑧「FinePixInstallOSX」画面が表示されます。
「インストール」ボタンをクリックすると、FinePixViewerがインストールされます。

⑨ImageMixer VCD2 LE for FinePixのインストーラが起動され、進行状況を示す画面が表示されます（数分かかる場合があります）。

⑩再起動後、「FinePixViewerのインストールが完了しました。」という画面が表示されます。

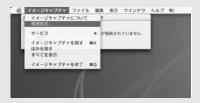
注意

WebブラウザにSafariをご使用の場合、CD-ROMを取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock内にあるSafariのアイコンをクリックして起動し、「Safari」－「Safariを終了」メニューを選択して終了させてください。

メモ

カメラを接続したとき、FinePixViewerを自動起動させるには

①「アプリケーション」フォルダから「イメージキャプチャ (Image Capture)」を起動します。

②「イメージキャプチャ」メニューより「環境設定」を選択します。

③「カメラを接続したときに起動する項目」から「その他」を選択します。

④「アプリケーション」フォルダの「FinePixViewer」フォルダから「FPVBridge」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

⑤イメージキャプチャを終了します。

これでインストールはすべて終了しました。

続いて、149ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。
CD-ROMは再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出したあと、湿気がなく、光が当たらないところに大切に保管してください。

カメラとパソコンを接続する

❶ 初回接続時に行ってください

実際にカメラをパソコンと接続し、正常に動作することを確認します。

チェック！

Windowsパソコンをお使いの方は、WindowsのCD-ROMが必要となる場合がありますので、あらかじめご用意ください。パソコンにWindowsのCD-ROMが付属していない場合は、パソコンの使用説明書を見るか、パソコンのメーカーへお問い合わせください。

メモ

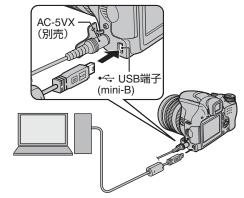
ACパワーアダプター AC-5VX（別売）のご使用を強くおすすめします。データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。使用可能なACパワーアダプターについては、http://fujifilm.jp/ をご参照ください。

① 静止画撮影済みの **xD-ピクチャーカード** をカメラにセットします(→26ページ)。

注意

- カメラ内の **xD-ピクチャーカード** をパソコンでフォーマットしないでください。
  撮影できなくなることがあります。
- **xD-ピクチャーカード** は弊社デジタルカメラで撮影したものをお使いください。
- カメラとパソコンを接続するとき、**xD-ピクチャーカード**内に大量の静止画や長時間の動画がある場合は、接続や転送に時間がかかったり、画像が保存できないことがあります。その場合は別売のイメージメモリーカードリーダーなどの使用をおすすめします。

② USBケーブル（mini-B）で接続します。

次ページにつづく

③ 電源レバーを“▶”に合わせて電源を入れます。

メモ

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。

注意

- USBコネクターは奥まで差し込んで、確実に接続してください。
  正しく接続されていない場合は正常に動作しません。
- カメラとパソコンを接続しているときは、以下の操作は行わないでください。
  xD-ピクチャーカード、内蔵メモリーまたは **xD-ピクチャーカード**、内蔵メモリー内のデータが破壊されることがあります。
  　USBケーブル（mini-B）を抜く／カメラ（電源レバー、操作ボタンなど）に触れる。

■ 以降の手順は、パソコンのOSによって違います。

Windows 98 SE/Me/2000

FinePixViewerが自動的に起動し、画像の保存ウィザード画面が表示されます。ここで画像を保存する場合は画面の指示に従って画像を保存します。保存しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

メモ

- FinePixViewerでは保存した画像だけしか見ることができません。必ずパソコンに画像を保存することをおすすめします。
- 「キャンセル」ボタンをクリックして保存を止めた場合は、必ず電源レバーを“OFF”に合わせて電源を切ってからカメラを取り外してください。

152ページの「カメラの取り外しかた」へ進んでください。

Windows XP

①「新しいハードウェアが見つかりました」というヒントが、画面右下に表示されます。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
次回以降の接続では、この手順は必要ありません。

②FinePixViewerが自動的に起動し、「画像の保存ウィザード」画面が表示されます。
ここで画像を保存する場合は画面の指示に従って画像を保存します。保存しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

 メモ

- FinePixViewerでは保存した画像だけしか見ることができません。必ずパソコンに画像を保存することをおすすめします。
- 「キャンセル」ボタンをクリックして保存を止めた場合は、必ず電源レバーを“OFF”に合わせて電源を切ってからカメラを取り外してください。
- FinePixViewerとともにインストールされるExif Launcherの機能により、カメラ接続時にFinePixViewerが自動起動します。

152ページの「カメラの取り外しかた」へ進んでください。

Mac OS X

FinePixViewerが自動的に起動し、画像の保存ダイアログが表示されます。
ここで画像を保存する場合は「OK」ボタンをクリックします。保存しない場合は「キャンセル」ボタンをクリックします。

 メモ

- FinePixViewerでは保存した画像だけしか見ることができません。必ずパソコンに画像を保存することをおすすめします。
- 「キャンセル」ボタンをクリックして保存を止めた場合は、必ず電源レバーを“OFF”に合わせて電源を切ってからカメラを取り外してください。

152ページの「カメラの取り外しかた」へ進んでください。

注意

FinePixViewerが自動起動しない場合は、ソフトウェアが正しくインストールされていません。カメラを取り外してからパソコンを再起動し、再インストールしたあと、148ページの「カメラを接続したとき、FinePixViewerを自動起動させるには」を参照して再設定してください。

❷ カメラの取り外しかた

Windows

① 画像の保存が終了すると、カメラ/メディアの取り外し画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「取り外す」ボタンをクリックしてください。

②「安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。

③ カメラの電源を切ります。

Mac OS X

① 画像の保存が終了すると、カメラ/メディアの取り外し画面が表示されます。
カメラを取り外す場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

②「カメラを安全に取り外すことができます」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてカメラを取り外してください。

③ カメラの電源を切ります。

注意

- 必ずカメラ内のファイルをすべて閉じて、「カメラとパソコンが通信中でないこと」を確認してください。
- パソコンの“コピーしています”という表示が消えてすぐ、カメラを取り外したり、USBケーブル（mini-B）を抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。

ソフトウェアを削除する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみ行ってください。

Windows

① カメラが接続中でないことを確認します。

② すべてのアプリケーションを終了します。

③「マイコンピュータ」を開き、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」（Windows XPをお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」）をダブルクリックします。

④「アプリケーションの追加と削除」のプロパティ（Windows XPをお使いの場合は、「プログラムの追加と削除」のプロパティ）が表示されますので、削除したいソフトウェア（FinePixViewerまたはドライバ）を選択して、「追加と削除」ボタンをクリックします。

⑤ 確認画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。実行すると取り消すことはできないので、慎重に行ってください。

⑥ 自動的にアンインストール作業が開始されます。アンインストール作業が終了したら、「OK」ボタンをクリックします。

Mac OS X

FinePixViewerを終了したあと、インストールしたFinePixViewerのフォルダを「ゴミ箱」に入れ、「Finder」メニューの「ゴミ箱を空にする…」を選択してください。

トラブルシューティング（Windows編）

正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（→138ページ）。動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり対処してください。「トラブルシューティング」をご覧になるには、下記の手順をご参照ください。

Windows

■「ヘルプ」メニューの「トラブルシューティング」を選択します。

分類	症　状
接続・画像閲覧	自動起動の設定を変更したい。
	初回接続時に“WINDOWS”のラベルの付いたディスクを要求されました。
	カメラをパソコンに接続したとき、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されました。
	パソコンがカメラを認識しません（パソコンでカメラを利用できません）。
	FinePixViewerが自動起動するまで時間が掛かります。
	メディアのアクセスの際、パソコンがハングアップします。
その他	「画像ネットサービス」にログインできません。
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。
	パソコンが正常終了しません。
	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。
	Windows Media PlayerでAVIファイルを再生できません。
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

トラブルシューティング（Macintosh編）

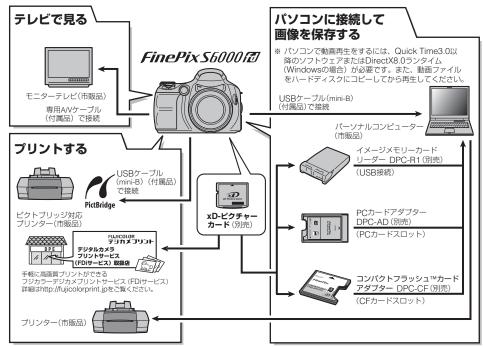
正常に動作せず、トラブルが発生したときにはまず、お使いのパソコンが動作環境にあてはまるか確認してください（→145ページ）。
動作環境にあてはまるにもかかわらず動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり対処してください。
「トラブルシューティング」をご覧になるには、下記の手順をご参照ください。

Mac OS X

■「ヘルプ」メニューの「FinePixViewerの使い方」を選択します。

分類	症　状
接続・画像閲覧	USB接続したときに、Mac OSの「ディスクの初期化」が表示されました。
インターネット	「画像ネットサービス」にログインできません。
	「画像ネットサービス」にユーザー登録できません。
	インターネットメニューが正しく更新できません（ボタンがきれいに並びません）。
	ネットサービス注文サイトへの画像アップロード中に通信エラーが出ます。 注文する画像の確認画面で画像が正しく表示されません。
その他	カメラが画像ファイルを再生できなくなりました。
	FinePixViewerが自動的に起動するのを止めたいのですが。
	AVI形式の動画ファイルをパソコン上で再生する場合のご注意。

システムアップ機器（別売） （平成18年8月現在）

別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊ デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます。

＊ 本製品はPRINT Image Matching Ⅱ に対応しています。

別売アクセサリーの紹介　（平成18年8月現在）

使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

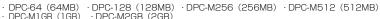
※ 最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。
　http://fujifilm.jp/

※ 価格はメーカー希望小売価格です。

● イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）

以下の種類がお使いいただけます。**xD-ピクチャーカード** には従来品と、「DPC-M1GB」など、「M」が付いているType Mがあります。

本機はType Mに対応していますが、使用する機器（カードリーダーなど）によって非対応の場合があります。

・ DPC-64（64MB） ・DPC-128（128MB） ・DPC-M256（256MB） ・DPC-M512（512MB）
・ DPC-M1GB（1GB） ・DPC-M2GB（2GB）

※すべてオープン価格

● ACパワーアダプター AC-5VX

長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100V～240V、50/60Hz対応）
使用可能なACパワーアダプターについては、http://fujifilm.jp/ をご参照ください。

※4,000円（税込み 4,200円）

● 単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素電池2500」（FNH HR AA 4B F）

高容量の単3形ニッケル水素電池です。
4本パック「型名 FNH HR AA 4B F」をお買い求めください。

※1,980円（税込み 2,079円）

● ニッケル水素／ニカド超急速充電器デジチャージプロ（FNW PRO 1 BX D）

単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素2500」4本を約165分で充電できます。海外でも使用可能な電圧（AC100V～240V）、周波数（50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※6,300円（税込み 6,615円）

● ニッケル水素／ニカド急速充電器デジチャージⅡ（FNW 1 BX F）

単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素2500」4本を約280分で充電できます。海外でも使用可能な電圧（AC100V～240V）、周波数（50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※4,500円（税込み 4,725円）

次ページにつづく

● ソフトケース SC-FXS9
カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。 ※5,500円（税込み 5,775円）

● ワイドコンバージョンレンズ WL-FXS6
詳細は159ページをご覧ください。

● イメージメモリーカードリーダー DPC-R1
イメージメモリーカード（ **xD-ピクチャーカード** 、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。

※オープン価格

● PCカードアダプター DPC-AD
xD-ピクチャーカード あるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。

※オープン価格

● コンパクトフラッシュ ™カードアダプター DPC-CF
xD-ピクチャーカード を挿入するとコンパクトフラッシュ ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。

※オープン価格

コンバージョンレンズの紹介

■ 使用できるコンバージョンレンズ

ワイドコンバージョンレンズ WL-FXS6

レンズのF値を変えずに焦点距離を0.8倍（広角：22.4mm相当）に変換します。

ワイドコンバージョンレンズ仕様

倍率	0.8倍
レンズ構成	3群3枚構成
撮影可能距離	約40cm～無限遠(∞)
外形寸法	φ95mm×37.5mm
質量	約214g
付属品	レンズキャップ（前、後)、レンズポーチ

矢印方向にねじ込んで取り付けます。

注意

・広角側での使用をおすすめします。望遠側ではゆがみが大きくなります。
・ワイドコンバージョンレンズを使用しているときは、フラッシュを併用できません。
・ワイドコンバージョンレンズを使用して、太陽や強烈なライトに向けて撮影すると、ゴーストが発生する恐れがあります。
このような場合は太陽などの強い光源を撮影できる範囲からできるだけ避けるようにして撮影すると、軽減するか、消える場合があります。

メモ

強い光が直接レンズ面に当たり、レンズ内で光が乱反射して光源とは別の場所に光の玉や輪が現れる現象をゴーストといいます。

使用上のご注意

ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■ 避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、**xD-ピクチャーカード** に水滴がつくことがあります。このようなときは **xD-ピクチャーカード** を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池、**xD-ピクチャーカード** を取り外して保管してください。

■ カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形ニカド電池は、使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命（使用時間）の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

電池についてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、4本すべてを新しい電池にお取り換えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単3形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

単3形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくためのご注意

- デジタルカメラで使用する電池として単3形ニッケル水素電池（以下ニッケル水素電池）は、アルカリ乾電池に比べてカメラで撮影できる枚数が多いなど優れていますが、ニッケル水素電池の本来の電池性能を発揮させるために使用方法にはご注意が必要です。
- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能を使っての放電と充電を数回繰り返すことにより、「不活性」や「メモリー効果」によって一時的に低下した電池性能を回復させ、ニッケル水素電池本来の性能を発揮させることができます。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  「充電池放電」操作は164ページをご参照ください。

注意

アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

小型充電式電池（ニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

詳細は、「有限責任中間法人JBRC」のホームページをご参照ください。

［ホームページ］http://www.jbrc.net/hp/

ACパワーアダプターについてのご注意

必ず専用のACパワーアダプター AC-5VX（別売、JEITA規格、極性統一形プラグ付き）をお使いください。
弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。

- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

 メモ

使用可能なACパワーアダプターについては、http://fujifilm.jp/ をご参照ください。

充電池放電の操作

充電池放電機能は、ニッケル水素電池（充電式電池）のみでご使用ください。
アルカリ乾電池で充電池放電機能を使用すると、乾電池が使用できなくなります。
以下のようなときに充電池放電をご使用ください。

- 充電後の使用可能時間が短くなったとき
- 長期間使用しなかったとき
- 新しくニッケル水素電池を購入したとき

カメラにACパワーアダプターを使用しているときは、充電池放電を行わないでください。外部から電源供給されるためカメラ内のニッケル水素電池は放電されません。

①電源レバーを“▶”に合わせて、電源を入れます。

②メニューを表示します。

③“SET セットアップ”を選びます。

④セットアップ画面を表示します。

⑤“2”を選びます。

⑥“充電池放電”を選びます。

⑦確認画面を表示します。

⑧“MENU/OK”ボタンを押します。

⑨“実行”を選びます。

⑩放電を開始します。
電池残量表示が赤点灯から赤点滅になり放電が終了するとカメラの電源が切れます。

注意

放電中に操作を中止したいときは“DISP/BACK”ボタンを押します。

xD-ピクチャーカード^{TM}、内蔵メモリーについてのご注意

■ xD-ピクチャーカード について

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card（ xD-ピクチャーカード ）です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ 内蔵メモリーについて

- 内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-Rなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- 修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ ファイル保持について

以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

- お客様または第三者が xD-ピクチャーカード 、または内蔵メモリーの使いかたを誤ったとき
- カメラやパソコンなどから xD-ピクチャーカード 、または内蔵メモリーへアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
- その他、誤った使いかたをしたとき

メモ

大切なファイルは別のメディア（DVD-R、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■ 取扱上のご注意

- xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- xD-ピクチャーカード をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- xD-ピクチャーカード の記録中、消去（フォーマット）中は、絶対に xD-ピクチャーカード を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。xD-ピクチャーカード が破壊されることがあります。
- 指定以外の xD-ピクチャーカード はお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- xD-ピクチャーカード は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
- xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 保管や持ち運びする場合は専用ケースか専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
- 静電気を帯びた xD-ピクチャーカード をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出した xD-ピクチャーカード が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

- **xD-ピクチャーカード** には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このようなときは新しいものをお買い求めください。
- **xD-ピクチャーカード** にはラベル類は一切はらないでください。**xD-ピクチャーカード** の出し入れの際、故障の原因になります。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい **xD-ピクチャーカード** とお取り換えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

メモ

・xD-ピクチャーカード には従来品と、「DPC-M1GB」など、「M」が付いているType Mがあります。
本機はType Mに対応していますが、使用する機器（カードリーダーなど）によって非対応の場合があります。
・Type-Hは海外のみの販売となります。Type-Hの互換性はType-Mと同じです。ただし、xD-ピクチャーカード USBドライブ DPC-UD1をお持ちの方は、Type-Mは使用できますが、Type-Hはご使用になれません。

■ xD-ピクチャーカード 、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとの **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーを使って撮影する場合、**xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーのフォーマットはカメラで行ってください。
- **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンで **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。**xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- **xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリー上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

xD-ピクチャーカード™の主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード **xD-Picture Card**（**xD-ピクチャーカード**）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm （幅×高さ×厚み）

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
（赤点灯） （赤点滅）	電池の残量が減っている、またはない。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
!	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	• 暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 • AFロック撮影をしてください（→38ページ）。 • 近距離撮影する場合は、マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード表示（赤点灯）	明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できない。	適正な明るさ（露出）ではありませんが、撮影できます。
フォーカスエラー **ズームエラー**	カメラが誤作動または故障している。	• レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 • 電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードがありません	画像コピー時に **xD-ピクチャーカード** が入っていない。	**xD-ピクチャーカード** をセットしてください。
フォーマットされていません	• **xD-ピクチャーカード** 、内蔵メモリーがフォーマット（初期化）されていない。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 • カメラが故障している。	• **xD-ピクチャーカード** 、内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→125ページ）。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→125ページ）。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 • 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処　置
カードエラー	• xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 • xD-ピクチャーカード のフォーマットが異常。 • カメラが故障している。 • xD-ピクチャーカード が壊れている。	• xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→125ページ）。それでも警告表示が消えない場合は xD-ピクチャーカード を交換してください。 • 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません IN空き容量がありません	内蔵メモリー、または xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録、またはコピーできない。	画像を消去する（→47ページ）か、空き容量のある xD-ピクチャーカード を使用してください。
記録できませんでした	• xD-ピクチャーカード と本体の接触異常または xD-ピクチャーカード の異常のため記録できない。 • 撮影した画像が xD-ピクチャーカード の空き容量を超えて記録できない。 • xD-ピクチャーカード 、内蔵メモリーがフォーマット（初期化）されていない。	• xD-ピクチャーカード を入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 • 新しい xD-ピクチャーカード を使用してください。 • xD-ピクチャーカード 、内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→125ページ）。
動画記録できません	パソコンでフォーマットした xD-ピクチャーカード で撮影したため、記録が間に合わなくなった。	カメラでフォーマットした xD-ピクチャーカード をお使いください。
コマNO.の上限です	コマNO.が999-9999に達している。	① フォーマットした xD-ピクチャーカード をカメラにセットします。 ② セットアップメニューでコマNO.を「新規」にします（→122ページ）。 ③ 撮影します（コマNO.が「100-0001」より開始されます）。 ④ セットアップメニューでコマNO.を「連番」にします。

次ページにつづく

警告表示	警告内容	処　置
再生できません	• 正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面（金色の部分）が汚れている。 • カメラが故障している。 • 本機以外で記録した静止画または動画を再生しようとした。	• 再生することはできません。 • **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→125ページ）。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 • 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 • 再生することはできません。
枚数制限をこえています。	5000枚以上の画像を日付再生しようとした。	5000枚以上の画像は日付再生できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとした。 • プロテクトされているファイルにボイスメモを付けようとした。 • プロテクトされているファイルを回転しようとした。	• プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください（→103ページ）。 • プロテクトしたファイルにボイスメモは付けられません。プロテクトを解除してください（→103ページ）。 • プロテクトしたファイルは回転できません。プロテクトを解除してください（→103ページ）。
ボイス再生できません	• ボイスメモファイルが異常。 • カメラが故障している。	• ボイスメモを再生することはできません。 • 弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
画像がありません **IN画像がありません**	**xD-ピクチャーカード** 、または内蔵メモリーに画像がないときに、内蔵メモリーまたは **xD-ピクチャーカード** へ画像をコピーしようとした。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
03Mトリミングできません **RAWトリミングできません**	0.3Mの画像、RAW設定で撮影した画像をトリミングしようとした。	トリミングはできません。
トリミングできません	• 本機以外で撮影した画像をトリミングしようとした。 • 画像が壊れている。	トリミングはできません。

警告表示	警告内容	処　置
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一 **xD-ピクチャーカード** 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の **xD-ピクチャーカード** にプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません **RAW設定できません** **🎥設定できません**	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとした。	画像の形式上プリント予約できません。
回転できません **🎥回転できません**	本機以外で撮影した画像または動画を回転しようとした。	画像の形式上回転できません。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができなかった。	• USBケーブル（mini-B）の接続を確認してください。 • プリンターの電源が入っているか確認してください。
プリンターエラー	PictBridgeに関する表示。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー再開しますか？	PictBridgeに関する表示。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は“MENU/OK”ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	PictBridgeに関する表示。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

次ページにつづく

警告表示（つづき）

警告表示	警告内容	処　　置
プリントできないコマです	PictBridgeに関する表示。	• 動画とCCD-RAWはプリントできません。 • 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

困ったときは

故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

■ 準備中

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
電池、電源について	電源レバーを“📷”または“▶”に合わせても電源が入りません。	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換するか、充電済みの電池を使ってください。	23、25、161
		電池を正しい向きで入れていますか？	電池を正しい方向で入れ直してください。	24
		電池カバー、またはスロットカバーはきちんと閉まっていますか？	電池カバー、またはスロットカバーをしっかり閉めてください。	24
		ACパワーアダプターは正しく接続されていますか？	ACパワーアダプターの接続部分をよく確認して、正しく接続してください。	129、163
		電池とACパワーアダプターを両方とも抜いて、長時間放置していませんか？	電池を入れて数秒待つか、またはACパワーアダプターを接続して数秒待ってから電源を入れてください。	23、28、129
	電池の減りが早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	電池をポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	23、25、161
		電池の端子が汚れていませんか？	電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。	25、161
		同じ電池を長期間使っていませんか？	電池の寿命の可能性があります。新品の電池と交換してください。	23、25、161
		長時間放置した充電式電池を使用していませんか？または、残量がある状態で繰り返し充電していませんか？	カメラの充電池放電機能を使用し、完全に放電してから再度充電してください。	164
	使用中に電源が切れてしまいました。	電池残量が少なくなっていませんか？	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	23、25、161
		ACパワーアダプターの接続が切れていませんか？	ACパワーアダプターをつなぎ直してください。	129、163

次ページにつづく

■ メニューなどの設定時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
画面表示について	メニューが英語で表示されています。	“SET セットアップ”メニューの“言語/LANG.”が“ENGLISH”になっていませんか？	設定を“日本語”にしてください。	118、120

■ 撮影時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しい **xD-ピクチャーカード** を入れるか、不要なコマを消去してください。	26、47
		xD-ピクチャーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	118、125
		xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	**xD-ピクチャーカード** の接触面を乾いた柔らかい布でふいてください。	26、166
		xD-ピクチャーカード が壊れている可能性があります。	新しい **xD-ピクチャーカード** を入れてください。	26
		電池残量が少なくなっていませんか？	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	23、25、161
		電源が切れていませんか？	電源を入れ直してください。	28
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しませんでしたか？	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	74
ピントについて	ピントが合いにくいです。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	72
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	72
		オートフォーカスの苦手な被写体（→39ページ）を撮影しようとしていませんか？	AF/AEロック撮影または“MF”マニュアルフォーカス撮影をしてください。	38、70
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	撮影モードが▲、、、、、TEXT に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	52
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	撮影モードが"、▲、、、、、、、"に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	52

■ 撮影時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュ充電中に撮影しませんでしたか？	フラッシュの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。	74
		撮影モードが“N、▲、、、”になっていませんか？	撮影モードを変更してください。	52
		電池残量が少なくなっていませんか？	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	23、25、161
		連写を使用していませんか？	連写をOFFにしてください。	75
		フラッシュの設定が“”になっていませんか？	フラッシュを“”以外に設定してください。	73
		“”スーパーマクロが設定されていませんか？	“”スーパーマクロを解除してください。	72
	フラッシュがポップアップしません。	フラッシュの設定が“”になっていませんか？	フラッシュを“”以外に設定してください。	73
		フラッシュ撮影の必要がないとカメラが判断した。	フラッシュ撮影をしたい場合はフラッシュを“”に設定してください。	73
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	撮影モードが“、P”以外になっていませんか？	シーンに合わせた設定になるためフラッシュ設定が制限されます。フラッシュ設定を重視するときは撮影モードを変更してください。	52、74
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗いです。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	72、74
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	33
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに汚れなどついていませんか？	レンズを清掃してください。	160
		撮影時に“!AF”が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	33、38、168
		撮影時に“!”が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。しっかりとカメラを固定してください。	35、168
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCDの特性によるもので、故障ではありません。	—
画像の記録について	撮影した画像や動画が記録されません。	カメラの電源が入っているときにACパワーアダプターの接続および取り外しをしませんでしたか？	ACパワーアダプターの接続および取り外しはカメラの電源が切れているときに行ってください。**xD-ピクチャーカード** の破損、パソコン接続時誤作動の原因になります。	129、163
連写について	連写に設定したのに、1コマしか撮れません。	サイクル連写、エンドレス連写に設定して、セルフタイマー撮影しませんでしたか？	サイクル連写、エンドレス連写は、セルフタイマーと併用すると、1コマしか撮影されません。	75、77

次ページにつづく

■ 再生時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
動画・ボイスメモ再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	110、117、118、124
		撮影/録音中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影/録音時はマイクをふさがないでください。	18、108、114
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	18、109、117
消去について	1コマ消去でコマが消せません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。	103
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマNO.について	コマNO.の「連番」が機能しません。	電池や **xD-ピクチャーカード** を交換するときに電源を切らずに電池カバーを開けませんでしたか？	電池や **xD-ピクチャーカード** を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。	28

■ 接続時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
テレビとの接続について	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	128
		動画再生中に専用A/Vケーブルを接続しませんでしたか？	動画再生をいったん停止させてから接続し直してください。	116、128
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「ビデオ」にしてください。	—
		“SET セットアップ”の“NTSC/PAL ビデオ出力”が“PAL”になっていませんか？	日本国内で使用する場合は“NTSC”にしてください。	118、120
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	—
	テレビの画像が黒白になってしまいました。	“SET セットアップ”の“NTSC/PAL ビデオ出力”が“PAL”になっていませんか？	日本国内で使用する場合は“NTSC”にしてください。	118、120

■ 接続時

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USBケーブル（mini-B）が正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	149
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	• USB ケーブル（mini-B）が正しく接続されていますか？ • プリンターの電源は入っていますか？	• 確認して正しく接続し直してください。 • プリンターの電源を入れてください。	130

■ その他

どこがおかしい	症状・状況（相談内容）	ココをチェック	こうしてみてください	参照ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	電池、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	23、24、129、163
		電池の消耗が原因として考えられます。	新しい電池に交換するか、充電済みの電池と交換してください。	23、25、161
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	電池、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。	23、24、129、163、192

主な仕様

システム	
型番	FinePix S6000fd
有効画素数	630万画素
撮像素子	1/1.7型スーパー CCD ハニカム HR 原色フィルター採用
記録メディア	内蔵メモリー（約10MB）/ **xD-ピクチャーカード**（16MB～2GB）
記録方式	静止画：DCF準拠 圧　縮：Exif Ver.2.2　JPEG準拠/DPOF対応 非圧縮：CCD-RAW（RAF） 動　画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG） 音　声：WAVE形式、モノラル
記録画素数（ピクセル）	2848×2136/3024×2016/2048×1536/1600×1200/640×480 （6M/3:2/3M/2M/03M）
ファイルサイズ	別表に記載（→182ページ）
レンズ	名　称：フジノン光学式10.7倍ズームレンズ 焦点距離：f=6.2mm～66.7mm（35mmフィルム換算：約28mm～約300mm相当） 開放F値：F2.8～F4.9
デジタルズーム	約2.0倍（光学10.7倍ズームと併用　最大約21.4倍）
絞り（広角端）	F2.8～F11（最大13段）1/3EVステップ　手動/自動切り換え
撮影可能範囲	標　準：[広角] 約40cm～∞ (クイックショット時：約2.0m～∞) [望遠] 約2.0m～∞ (クイックショット時：約4.0m～∞) マクロ：[広角] 約10cm～約3.0m [望遠] 約90cm～約3.0m スーパーマクロ：約1cm～約1.0m (広角側のみ)
撮影感度	AUTO、ISO 100/200/400/800/1600/3200
測光方式	TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ
露出制御	プログラムAE（“P”モード時：プログラムシフト可能）/シャッタースピード優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出

システム	
シーンポジション	（ナチュラルフォト）/ （高感度2枚撮り）/ （人物）/ （風景）/ （スポーツ）/ （夜景）/ （花火）/ （夕焼け）/ （スノー）/ （ビーチ）/ （美術館）/ （パーティー）/ （花の接写）/ （文字の撮影）
ブレ軽減モード	あり
顔キレイナビ（顔検出機能）	あり
露出補正	−2EV〜+2EV　1/3EVステップ（P、S、A時）
シャッタースピード	AUTO、、、、、、、、、、、、、 ：1/4秒〜1/4000秒* ：4秒〜1/500秒* ：4秒〜1/2秒* ：1/45秒〜1/1000秒*（フラッシュ発光時のみ） P、S、A：4秒〜1/4000秒* M：30秒〜1/4000秒*　*メカニカルシャッター併用
連写	連写　最短撮影間隔：約0.45秒　記録枚数：最大3コマ サイクル連写　最短撮影間隔：約0.45秒 記録枚数：シャッターボタンを離した直前の3コマ エンドレス連写　記録枚数：内蔵メモリーまたは **xD-ピクチャーカード** の空き容量分
オートブラケティング	±1/3EV、±2/3EV、±1EV
フォーカス	モード：シングルAF/コンティニュアスAF/マニュアルフォーカス/ワンプッシュ AF（マニュアルフォーカス時） AF方式：TTLコントラストAF、AF補助光付き AFフレーム選択：センター固定AF/オートエリアAF/エリア選択AF（49ポイント）
ホワイトバランス	シーン自動認識オート/プリセット（晴天/日陰/昼光色蛍光灯/昼白色蛍光灯/白色蛍光灯/電球）/カスタム
セルフタイマー	約10秒/約2秒

次ページにつづく

システム	
フラッシュ	自動ポップアップ方式：CCD調光によるオートフラッシュ 撮影可能距離 （ISO：AUTO時）：広　角：約60cm〜約8.3m 望　遠：約2.0m〜約4.6m (マクロ時)：広　角：約30cm〜約2.0m 望　遠：約90cm〜約2.0m
フラッシュ発光モード	オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/赤目軽減＋スローシンクロ
ファインダー	0.33型　約11.5万画素　低温ポリシリコンTFTカラー液晶ファインダー 視野率 約100% 視度調節機構付き
液晶モニター	2.5型アモルファスシリコンTFTカラー液晶モニター　約23.5万画素（視野率 約100%）
動画	640×480ピクセル/320×240ピクセル　30フレーム/秒、音声付き（モノラル） 最長で内蔵メモリーまたは **xD-ピクチャーカード** の空き容量まで連続記録可能
撮影時機能	顔キレイナビ（顔検出機能）、クイックショット、フレーミングガイド（ベストフレーミング）、アシストウインドウ、コマNO.メモリー、ヒストグラム表示
再生時機能	顔キレイナビ（顔検出機能）、トリミング、画像回転、オートプレイ、マルチ再生、日付再生、ヒストグラム表示、高輝度警告表示、ボイスメモ
その他の機能	PictBridge対応、Exif Print対応、PRINT Image MatchingⅡ対応、 言語設定（日本語、英語）、世界時計（時差設定）、ファインピックスフォトモード、充電池放電機能

入出力端子	
ビデオ出力	NTSC/PAL方式（モノラル音声付き）
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed、PTP接続
DC入力端子	専用ACパワーアダプター AC-5VX（別売）

電源部、その他

電源	単3形アルカリ乾電池 4本使用 単3形ニッケル水素電池 4本使用（別売） 専用ACパワーアダプター AC-5VX（別売）
電池作動可能枚数の目安	（下表参照）
本体外形寸法	130.7mm×97.2mm×119.5mm（幅×高さ×奥行き）＊突起部含まず
本体質量	約570g（付属電池、**xD-ピクチャーカード** 含まず）
撮影時質量	約660g（付属電池、**xD-ピクチャーカード** 含む）
動作環境	温度0℃～+40℃　湿度80%以下（結露しないこと）

電池作動可能枚数の目安

電池の種類	液晶モニター使用時	液晶ファインダー使用時
単3形アルカリ乾電池(LR6)	約200枚	約200枚
単3形ニッケル水素電池HR-AA (ニッケル水素2500)	約400枚	約400枚

CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格による電池寿命測定方法（抜粋）：アルカリ乾電池は付属のものを使用。ニッケル水素電池は富士フイルムイメージング製ニッケル水素電池2500を使用。記録メディアは **xD-ピクチャーカード** を使用。液晶モニターON、温度（+23℃）、30秒ごとに1回撮影。撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2回に1回フラッシュをフル発光、10回に1回電源OFF/ONして撮影。

・注意：アルカリ乾電池の容量やニッケル水素電池の充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示す電池作動可能枚数を保証するものではありません。低温時では電池作動可能枚数が少なくなります。

次ページにつづく

■ xD-ピクチャーカード 、内蔵メモリー標準撮影枚数/記録時間

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は **xD-ピクチャーカード** の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	6M F	6M N	3:2	3M	2M	03M	RAW	動画 640	動画 320
記録画素数	2848×2136（約608万）		3024×2016（約610万）	2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）	—*	640×480	320×240
画像1枚のファイルサイズ	3.0MB	1.5MB	1.5MB	780KB	630KB	130KB	13.4MB	—	—
内蔵メモリー（約10MB）	3	6	6	12	15	77	0	8秒	16秒
DPC-16（16MB）	5	10	10	19	25	122	1	13秒	26秒
DPC-32（32MB）	10	20	20	40	50	247	2	27秒	54秒
DPC-64（64MB）	21	42	42	81	101	497	4	55秒	1分49秒
DPC-128（128MB）	42	84	84	162	204	997	9	1分51秒	3分39秒
DPC-256/M256（256MB）	85	169	169	325	409	1997	19	3分43秒	7分19秒
DPC-512/M512（512MB）	170	339	339	651	818	3993	38	7分26秒	14分39秒
DPC-M1GB（1GB）	341	680	680	1305	1639	7995	76	14分54秒	29分20秒
DPC-M2GB（2GB）	680	1360	1360	2558	3198	15992	152	29分49秒	58分41秒

*付属のソフトを使用してパソコン上で展開されるときの画素数は4048×3036ピクセルです。

DPC-M256、DPC-M512、DPC-M1GB、DPC-M2GBの **xD-ピクチャーカード** を使って撮影したとき、画像ファイルの記録と消去（コマ消去）を繰り返すと、動画記録時間がまれに短くなることがあります。
このような場合には、全コマ消去またはフォーマットしてからお使いください。
消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

＊ 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊ 液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊ レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

用語	解説
EV	露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。 CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。
Exif（イグジフ）ファイル形式	Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。
F-モード（ファインピックスフォトモード）	静止画撮影時の記録画像のサイズ変更（ピクセル）、感度変更（感度）、色合い変更（FinePixカラー）および、静止画再生時のプリント枚数等(DPOF)の設定ができるモードです。 フォトモード“F”ボタンを押すことで、設定画面を呼び出し、簡単に設定できます。
JPEG（ジェイペグ）	Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。
Motion JPEG（モーション ジェイペグ）	画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows　：Windows Media Player　＊DirectX8.0以降必要 Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降
WAVE（ウェイブ）	音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。 記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows　：Windows Media Player Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降
スミア	撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写るCCD特有の現象。
デジタルズーム	レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。
不活性	ニッケル水素電池は、長期間使用しないで保管されていたとき、電池内部に電気が流れにくい物質が増加し休眠状態になる場合があります。このような電池の状態を不活性と呼びます。 不活性状態のニッケル水素電池は電気が流れにくいため本来の電池性能を発揮することができない場合があります。

次ページにつづく

用語の解説（つづき）

フレームレート	：フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、例えば1秒間に10コマを連続して撮影している場合は10フレーム/秒と記します。 参考　テレビは約30フレーム/秒です。
ホワイトバランス	：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。
メモリー効果	：ニッケル水素電池を最後まで使い切らないで充電する操作を繰り返すと、本来の電池性能が低下する場合があります。このような現象をメモリー効果と呼びます。

索引

カメラ編

【アイコン（抜粋）】詳細は本文をご参照ください。

【さ】

【た～な】

【は】

【ま～や】

【ら～わ】

ソフトウェア編

【A～Z】

【あ～ん】

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 お問い合わせの前にお確かめください。
ソフトウェアのインストール、FinePixViewerの使い方は使用説明書（本書）やFinePixViewerのヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品Q&A・お問い合わせ
(http://fujifilm.jp/support/dc/index.html)、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 裏表紙のお問い合わせ先にFAX、電話でお問い合わせください。
より早く正確な回答のために、191ページのご質問用紙にご記入の上、下記の情報もご用意ください。

- カメラの機種名
- FinePixViewerのバージョンまたはCD-ROMのタイトル
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？ /トラブルが発生する直前の操作は？ /カメラの状態は？ /トラブルが発生する頻度は？

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ ご質問用紙

FAXでのお問い合わせは、この「ご質問用紙」をA4サイズにコピーして、質問事項および使用環境を詳しくお書きください。ボールペン、サインペンで楷書にてお書きください。

<table>
<tr><td>フ リ ガ ナ</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>お 名 前</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>ご 住 所</td><td colspan="3">〒　　　－</td></tr>
<tr><td>電 話 番 号</td><td>(　　)　　－</td><td>ファクス番号</td><td>(　　)　　－</td></tr>
<tr><td>E-mail</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>ご 記 入 日</td><td colspan="3">年　　月　　日</td></tr>
<tr><td>カメラの機種名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>FinePixViewerのバージョン
またはCD-ROMのタイトル</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>コンピュータ機種名</td><td></td><td>OSバージョン</td><td></td></tr>
<tr><td>メ モ リ 容 量</td><td>MB</td><td>ハードディスク容量</td><td>GB</td></tr>
<tr><td>接 続 機 器 名</td><td></td><td>そ の 他</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">エラーメッセージなど</td></tr>
<tr><td colspan="4">ご質問内容</td></tr>
</table>

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店またはサービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePixサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

当社サービスステーションに修理をご依頼ください。サービスステーションのリストが裏表紙に、主なサービスステーションの地図が194ページにあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。なお、集配ルートの都合上、サービスステーションに直接ご依頼いただくと、お預かりの期間は短くなります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下･衝撃､砂･泥かぶり､冠水･浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後８年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePixサポートセンター等のお問合せ先、あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●FinePixクイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが3日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】

  インターネット ：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  電話： 03-3436-2224
  ファクス：03-3431-3470

  申し込みに際し、192ページの「個人情報の取扱について」をご確認下さい。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●サービスステーションへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●FinePix特急30分修理（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- サービスステーションは下記6箇所です。

東京 大阪 名古屋	194ページの地図を参照下さい。
札幌 仙台 福岡	当社ホームページ http://fujifilm.jp/support/repairservice/servicestation/index.html をご覧ください。

- 専任技術者が対応しますので、その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引取り時にサービスステーション窓口でお支払い下さい。

●お買上げ店への持込修理

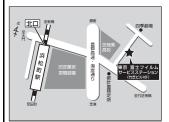
- 修理料金及びその支払方法については、お持ちいただいたお店にご確認下さい。

■ 修理に関する情報は

・修理サービスQ&A
http://www.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

・修理納期検索サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp
東京もしくは大阪のサービスステーションに修理依頼品を送付あるいは持込された場合、修理完了予定日を検索することができます。

・FinePix修理概算見積サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。

★東京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315

★大阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851

【受付時間】

東京・大阪・名古屋：
　月～金　9：00～17：40
　土　　　10：00～17：00
　日・祝日・年末年始を除く

札幌・仙台・福岡：
　月～金　9：00～12：00
　　　　　13：00～17：40
　土・日・祝日・年末年始を除く

・地図は、当社ホームページ
http://fujifilm.jp/をご覧ください。

FinePix S6000fd 修理依頼票

※予め192ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX番号	
ご住所	〒　　　ー		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。 修理お問合せ時にご連絡ください。	No.		
修理品への添付	□保証書　・　□xD-ピクチャーカード　・　□電池		
□（　　　）		□（　　　）	
□（　　　）		□（　　　）	
見積	□要（修理金額　　　円以上見積り）　・　□不要		
見積連絡方法	□電話　・　□ＦＡＸ		
故障症状（故障時の様子）			
ご購入時期	20　　年　　月		
修理履歴	□初回　・　□再依頼　（□同一症状　・　□別症状）		
発生状況：発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）		
発生状況：動作モード	□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると		
発生状況：他機との接続	□無　・　□有（接続機　　　）		
発生状況：使用電源			

FUJIFILM　富士写真フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル

0570-00-1060 市内通話料金でご利用いただけます ／ 携帯電話・PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は 042-481-1673

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX　042-481-0162

受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

弊社ホームページの自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

●修理の受付は…

富士フイルムサービスステーションではお客様の利便性向上のため、各種の修理サービスを用意しております。
お気軽にご利用ください。

サービスステーション名および住所・電話番号			
東京	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル 10F	(03)3436-1315
大阪	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル 3F	(06)6260-0915
名古屋	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	(052)202-1851
札幌	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館 3F	(011)222-3973
仙台	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル 1F	(022)265-2149
福岡	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1 富士フイルム 福岡ビル 3F	(092)281-4863

■お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が3日の宅配修理サービス

■お近くにサービスステーションがあれば

【FinePix 特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL　03-3406-2982

Printed in China　FPT/Y-608107-PY